新京日日新聞
夕刊
十二月四日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢 郵稅 一ケ月五拾錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用③三一〇五 營業局專用③三一〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

我が強硬態度に工部局縮み上る

南京路事件悉く我が要求を入れ 今後を約し覺書交換

【上海三日發國通】三日の南京路上に起つた不祥事件に關しわが陸軍と工部局との間に午後八時覺書を交換して事件は圓滿に解決した、覺書の内容左の如くである

一、日本軍は今後必要と認むるときは無警告をもつて共同租界を自由に通過することあるべし

二、今後においては本日の如き不祥事件絶對に起らざる如く工部局において充分努力を行ふことを約す

三、今後本日の如き不祥事件の起りたる場合は日本軍においては工部局が治安維持の實力なきものと認め獨立自由の行動をとる

四、工部局の取締に關し遺憾の點ありと認むるときは日本軍において捜査檢閲等適當と認むる獨自の處置を講ず

昭和十二年十二月三日
上海共同租界新々公司前において
大日本上海方面軍司令官代理 楠本大佐
工部局警視總監 ゼラード

犯人は英辯護士

【上海四日發國通】上海軍四日午前十時發表＝三日皇軍の租界内警備行進に當り南京路上において行はれたる國旗侮辱事件は、犯人逮捕の結果英人辯護士ノードランドなること判明、租界當局においてこれを一兩日中裁判に附する豫定にして、わが軍當局は憲兵をしてその裁判に立會はしめることゝなつた

楠本大佐語る

【上海三日發國通】南京路事件に關し軍司令官代理として工部局當局との交渉に當つた楠本大佐は覺書交換後語る

工部局の責任者ゼラード總監が會議やその他の都合で現場到着が遲れたので解決までにやゝ時間がかゝつたが、兩者間に覺書を交換して事件を本日中に一まづ落着させたことは幸であつてこれにより我方の租界に對する態度も明瞭となり、双方の諒解も遂げられたので今後の上海は一層明朗さを增すことであらう

獨大使の調停說 支那側の宣傳

【東京國通】日支調停のためドイツ駐支大使トラウトマン氏が蔣介石と會見するとの報道については未だ關係當局に公電がないため眞相は判明しないが、當局の觀測によればトラウトマン駐支大使が列國に率先して單獨で日支調停のイニシアテイヴをとるとなればドイツ本國政府の訓令に基き行動することゝならう、然し當局の得た情報によれば、ドイツ本國政府からはトラウトマン大使に此種の訓令を發した模樣がない、一方トラウトマン大使の人柄からみても獨斷で日支調停のイニシアテイヴをとるとはどうしても信ぜられない、從つておそらく支那側のためにせんとする宣傳であらう、然しながらドイツは對支政策に積極的意思を有し南京政府と不即不離の態度を持してゐるので斡旋が假令事實としてもそれはドイツの對支行動に關係することだから愼重に行はれるであらうとの觀測を下してゐるが、トラウトマン大使の調停乘出說そのものに對しては餘り重視してゐない模樣である

日本空軍の適確な南京空爆

ニツカー・ボツカー氏目擊談

【神戸國通】上海を本據として戰線各地を視察してゐたインターナショナル通信社記者ニツカー・ボツカー氏は歸國の途三日午後七時神戸入港のフランス汽船シヤン・ラボルト號で日本へやつて來た、ニツカー・ボツカー氏はわが長谷川長官が南京空爆の豫告を發した去る九月廿四日南京へ駈けつけわが空軍の空爆下に置かれた抗日首都南京の戰慄を詳さに視察して來たのである、以下同氏の話

私が南京へ行つたのは九月二十四日で、連日日本軍飛行機の爆擊を受けた眞最中であつた、爆擊通告があつたものだから私は危險を冒して下關のホテルの屋上にカメラを据ゑて日本飛行機の來襲を待つてゐたすると〇〇臺の日本飛行機が大編隊で姿を現した、と見るや地上からは支那軍が猛射を開始したが日本の一機が私の目の前で物凄い急降下をやつて下關の發電所に七個の爆彈を投下した、その痛快極まる急降下爆擊の見事さと云つたら例へる言葉もない、日本の飛行機が去つたので直に私は全市を廻つて見たが何と！南京の軍要軍事施設が悉く相當の大損害を受けてゐるのではないか、その翌日からは毎日同じやうな爆擊が繰り返され連日第一日(二十四日)と少しも變らぬ日本軍の美技と適確さは遂に外人の私も興味を失つた程であつた、しかし市内には全く支那人は軍人以外は一人も姿を見せず全部が地下の穴倉住ひで廢墟といつた感じだつた、何れにしても私が感じたのは蔣介石といふ男は勇敢な確かに傑物だ、どんな爆擊下にあつても最初は全南京市民が文句なしに蔣を信じてゐた、しかし破られたならば國民の中に不平をいふ奴が出て來るのは何處の國でも同じことだが今や蔣は國民の怨嗟の的となつてゐるのは僕は自然の成行きだと思ふ

上海軍發表

【上海三日發國通】上海軍三日午後八時發表

わが安部、野中兩飛行部隊は、三日南京を空襲し、午後一時五十分同市上空において敵十數機と約一時間にわたり交戰し敵八機を擊墜せり、又飛行場を爆擊し地上にありし敵機を擊破せり

南京最後の防禦線突破目睫に迫る

意氣既に漢口、重慶を壓す

各地戰況 四日朝

【上海四日發國通】上海軍四日午前零時發表

一、丹陽を攻擊中なりし大野、野田等の部隊は三日朝完全にこれを占領し直ちに鎭江ならびに句容方面に敵を急追中なり

一、丹陽、金壇、溧陽を略取せる部隊は一路南京を目標に急進を續け南京最後の防禦線たる鎭江、句容、溧水の線の突破は目前に迫り皇軍の意氣既に遠く漢口、重慶を壓せんとす

▲上海方面　南京攻防の日支兩軍主力戰大衝突の機はいよいよ迫り連戰連勝のわが軍は丹陽、金壇、溧陽の陣地を拔いてひた押しに西進し、敵を北は鎭江砲臺より句容、南は溧水に至る線にまで追ひつめ、南京まで僅か十數里の距離となり皇軍將士の意氣はすでに南京を呑むの槪あり

陸海軍航空部隊は三日前日に引續き南京を空襲又復敵八機を擊墜、軍事要地に大爆擊を敢行した

なほ三日わが軍の上海租界内大行軍に際して新々公司三階より爆彈二個を投擲したる事件ありたるも犯人はその場において工部局警官に射殺され、皇軍は泰然そのまゝ警備行進を續けて本部に歸還した

▲津浦、京漢線方面　黃河以北の敵を掃蕩したわが軍は京漢線は彰德、津浦線は濟南の對岸に堂々進擊したが濟南の陷落はすでに時間の問題となつてゐる

河南省彰德附近の大濕地帶の不動不自由に惱んでゐた皇軍も迫り來る寒氣に沼澤地の結氷するとゝもに行動極めて容易となり、敗殘兵は數日來着々掃蕩されつゝある、また空軍部隊の活躍も特に活潑で連日附近敗殘部隊の發見掃蕩に從事してゐる

英代理大使上海に向ふ

【ロンドン三日發國通】ロンドン着電報によれば、駐支英國代理大使ハウ氏は大使館員數名ならびに漢口フランス領事館員數名とゝもに三日午前漢口發上海に向つた

近來の快空中戰

見るゝ敵八機を擊墜 我機に一發の命中彈なし

【上海四日發國通】陸軍飛行隊の精鋭安部部隊麾下の隼〇機編隊は三日午後一時頃南京上空で敵の十數機と壯烈な空中戰鬪の繪卷を展開、内八機を擊墜意氣揚々一機殘らず歸還したが、この空中戰で敵四機に圍まれながら二機を擊墜した遠部登久雄少尉はこの日の壯烈なる戰鬪狀況を左の如く語る

吾々の〇機編隊は第一編隊長高月大尉、第二編隊長が私で十二時五十分頃南京上空に到着、野中部隊と連絡した、この時の高度三千五百米、見ると南京飛行場には敵機が澤山並んでゐたが吾々が到達すると同時にその内の三機が先づ上昇して來たので直ちに垂直降下で二機を擊墜その間に殘りの十數機も一齊に上昇し來り忽ち物凄いスピードで吾々の上方に現れ挑戰し來つたので吾々も上昇數機が束になつてかゝつて來る奴を急旋回でこれをひつぱなしては射ち落し約一時間互に卍巴となつて戰つた、その内敵の墜落機が七機に及ぶころ敵はかなはずと知つたか快速を利して逃げ始めたのでこれを追ふたが何しろ逃げ足が早くこちらはそろそろ燃料が淋しくなつたので深追ひ斷念して歸つて來た、敵機は何れもソ聯製の優秀な戰鬪機で型は低翼單葉E一六型とおぼしくスピードの點では性能極めて優秀だが旋回能力は餘りよくない、從つて敵に急速力で後方から追ひつかせてもう射つて來るなと思つた瞬間にひらりと機體を轉じて急旋回をすると敵は空をついて前にのめつて行く、そこで今度は逆に後から射ち墜すのだ、何のことはない面白いほど射ち墜せる、陸軍としては南京上空の空中戰は今日が始めてだ、歸還して機體を調べて見ると何れも機體には一發も敵彈は命中してゐなかつたよ

説明　支那軍の手によつて破壞された黃河鐵橋(陸軍省貸下)

觀臺鎭驛占據

機關車三輛を鹵獲

【石家莊三日發國通】京漢線豐樂鎭より六河溝炭鑛に通ずる鐵道沿線附近の掃蕩に向つた木村部隊は二日觀臺鎭驛を完全に確保、同驛構内で機關車三輛を鹵獲した

隆平、鉅鹿の七千 皇軍に歸順

【石家莊三日發國通】わが軍は河北省内の一般民衆を再び戰火の巷に置くに忍びずとて殘敵に對しては努めて砲火を浴びせずして歸順させる方針を持し着々その效を擧げつゝあるが、去る二日にも隆平、鉅鹿(石家莊東南方廿里)を中心に蟠居してゐた某有力部隊代表は威縣にあるわが軍に來り約七千の兵とゝもに歸順を申出で日本軍の指導によつて明朗河北の建設に協力する旨を告げた

觀臺鎭炭礦占領

【京漢線豐樂鎭三日發國通】豐樂鎭警備の森田〇隊の一部は同所より西方六里の觀臺鎭炭鑛に乘込んだが、同炭鑛附近の約二千名の敗殘兵はわが軍の進出に恐れをなし逸早く潰走し、わが軍は一兵も損せずしてこれを占領した、この結果彰德を始め京漢線前線地方は今後充分石炭の供給を受けることゝなつた

時局に對處 軍需局設置か

商工省具體案立案中

【東京國通】政府では長期戰不可避の情勢にある支那事變の推移に伴つて軍需資材並に一般生產資材調達策を更に强化すべく爲替對策の樹立並に歐州戰爭當時英、米、獨等において行はれたる軍需局の如き獨立機關の設置を考慮し、商工省が中心となつて近く具體案を練ることになつた、即ち三日の閣議席上、吉野商相より次の如き意見が提唱され各閣僚もこれに同意したので商工省は更に大藏、陸、海軍三省と打合せてこれが具體策を立案することになつた

一、恒久對策としては軍需資材及び一般生產資材輸入を一層圓滑ならしめるため爲替對策を講ずること

一、恒久對策として內閣又は商工省に取敢へずコミツテイを置き事變の進展によつてはこれを改變して軍需所又は軍需局等の獨立機關を置いて物資調達の運用に當らしめること

事變傷病兵の救護豫算來議會に提出

【東京國通】今回の支那事變で名譽の戰傷を受けたり罹病したりした兵士の保護問題で內務省社會局では出來る限りの感謝と溫情とをもつて保護を加へねばならぬと種々對策を練つた結果、次のやうな方策をもつて研究立案を進めこれに伴ふ豫算ならびに法律案を來議會に提出するに方針を決定した、すなはち將兵に對しては陸海軍當局で充分の治療を加へた後除隊することになつてゐるが、除隊後において疵のあとが痛んだり、簡易な手當を加へる心要のある兵士に對してはさらに十二分の療養を與へるための施設及び國立療養所を增設する、かうした設備の下に全快した兵士は夫々出征前の職場に入營者職業保障法の規定により復職させ、手や、足を負傷のためなくしたりして自由がきかなくなつた者に對しては全國數個所に職業輔導所を設置し職業に就けるまで充分指導してから內務省社會職業課が總指揮となつて一人の失職者もないやう出來る限りの努力を盡し、なほ適當な職業の發見出來ぬ者のためには國家が責任をもつて就職斡旋に乘出すため社會、行政上劃期的な强制雇傭を斷行する方針の下に適當な立法を制定する

その日く

□ 堂々たる行進、その意氣は痛快に租界當局との覺書に現れて居る

□ 行進は更に南京に迫つても展開、青天白日旗をいつそ白一色にするか

□ 空には輝かしい戰果が續くあきらかな事態の飛躍を象徵して

□ そのかみ恐れられたヤゴダが死刑にされる、ソ聯の無軌道恐るべし

□ 來年元旦の計先づ成る、午前七時全國一齊に、この案は爽かである

人事往來

着京

▲本多兵一氏(日滿石油)三日東京ヤマトホテル
▲鮫島千代策氏(機械商)同
▲大竹莊介氏(會社員)同
▲乾菊藏氏(同)同
▲廣瀨淸氏(滿鐵社員)同
▲辰馬鎌藏氏(官吏)同國都ホテル
▲谷口三郎氏(同)同
▲宮本正之輔氏(同)同
▲武井一夫氏(同)同向陽ホテル
▲黑田友七氏(齊々哈爾市公署)同
▲高瀨俊氏(會社員)同
▲釣舟三郎氏(鐵工業)同滿蒙ホテル
▲大西八郎氏(官吏)同
▲宮島忠雄氏(同)同中央ホテル
▲種谷實氏(同)同
▲蓬屋德造氏(同)同
▲大西榮吉氏(會社員)同
▲小山淸人氏(同)同都ホテル
▲山崎朝一郎氏(同)同
▲中村忠之助氏(農業)同
▲吉田英祥氏(會社員)同
▲隰家道氏(滿鐵社員)同國際ホテル
▲藤井保則氏(官吏)同
▲吉永克郎氏(同)同
▲田本辰次郎氏(西松組)同
▲秋山眞造氏(官吏)同蓬萊ホテル
▲長野豐氏(第一製藥)同
▲近藤芳弘氏(東洋製鋼)同
▲古澤敏太郎氏(滿鐵社員)同
▲山縣勝氏(國際運輸)同新京ホテル
▲加納五郎氏(滿鐵社員)同
▲大津貞氏(同)同
▲瀧口治郎氏(會社員)同富士屋旅館
▲二見作平氏(滿鐵社員)同
▲岩澤倉吉氏(同)同
▲吉岡幸一氏(官吏)同帝都ホテル
▲吉村讓二氏(三井物產)同
▲伊藤德次郎氏(同)同
▲中島豐氏(同)同

兵事關係事務は各警察で取扱ふ
首都警察へ來なくともよい
◇……在鄉軍人諸君へ注意

治廢後警察機構一元化に伴つて兵事事務も警察に於て取扱ふこととなり係員の身分は滿洲國警察官、事務系統は大使館、事務指導は軍司令部と言ふ關係となり、首都警察廳では新たに兵事科を設置し主任(缺員)副主任に元新京署兵事係主任山口讓雄氏が就任、管下各警察はそれ〲兵事係を設け事務を開始してゐる、然し最近新京に在留する在鄉軍人にして在留屆、在留地變更屆、旅行屆、退去屆等の一切を首都警察廳兵事科に提出する者非常に多く同科を困惑させてゐるが、これが屆出は居住地又は勤務地を管轄する各警察署兵事係で取扱ふもので在鄉軍人はこの點充分認識されたいと同科は要望してゐる

▷▷▷▷▷七日は大雪

來る七日は二十四節のうちの大雪に當る、この日午後九時二十七分にその節に入るので新京の日の出時刻は午前七時五十八分、日の入り午後五時四分となる

レヴュー「滿洲より北支へ」愈よ完成

新興滿洲國と平和の曙光兆し初めた北支を舞臺とする一大レヴュー劇が鐵道總局の肝煎りで東寶文藝部の手により完成されいよ〱正月興行の寶塚少女歌劇において大々的に發表されることになり早くもレヴュー・ファンの話題の中心となつてゐる、此劇は過般滿洲を旅行した小林一三氏が滿洲及び北支を背景にしたレヴュー劇を作つて內地の人々に見せたらその眞の姿を知らせるのに大いに效果があるだらうと言つたのにヒントを得て早速東寶文藝部長岸田辰也氏を滿洲に派遣鐵道總局援助の下に作成されたもので題名は「滿洲より北支へ」全部で廿景といふ廣汎なるものである、なほ總局では右レヴューの公開を機會に劇場その他において滿支寫眞展或は滿支を語る座談會を開催すべく目下計畫を進めてゐる

滿西親善の握手

十二月二日駐日フランコ政權代表フランシスコ・カスチリヨ氏は駐日滿洲國大使館に阮大使を訪問喜びの固き握手を交した(寫眞は兩國代表の握手)

奥地社員のために滿鐵の心やり
具體的福祉施設本決り

滿鐵社員會奥地福祉施設委員會では福祉施設の具體的立案に關し愼重に研究を重ねると共に各聯合會にも諮り且つ總裁室並に總局の兩福祉課とも充分なる打合せを遂げた結果會社が天長節の酒肴料を廢したものに若干を加へて十萬圓となしこれを下附されることになつたのでそれを以つて集會所設置並に巡回圖書の充實に關し左案の通り第一次計畫として最も必要且つ普遍妥當なる五ヶ年計畫案を得た、而して是等施設の建設に當つては其順位設計は會社機關に願ひ建設終了後は逐次會社に獻納巡回圖書に於ても同樣之が選定購入に付ては會社機關に委託し實施するものである、尚具體案詳細は左の如くである

一、集會所設置の件
國線及北鮮の二、三、四等驛を標準に一集會所一萬圓內外にて五ヶ年に設置することゝす

二、巡回書庫充實の件
一ヶ年一萬二千圓程度にて從來實施中の巡回書庫の充實を期す

△集會所必要驛名

錦縣鐵路局管內　河北、山城鎭、溝幇子、葉柏壽、赤峰、彰武縣、新民、金嶺寺、朝陽、平原、海州

吉林鐵路局管內　西安、五常、梅河口、蛟河、通化、新站

牡丹江鐵路局管內　敦化、鹿道、寧安、林口、密山、明月溝、龍井、佳木斯、勃利、黑咀

哈爾濱鐵路局管內　北安、綏化、海倫、孫呉、黑河、呼蘭

齊々哈爾鐵路局管內　泰安、克山、江橋、訥河

北鮮鐵道事務所管內　會寧、上三峰、南陽、雄基、輸城

元旦の午前七時
全國一齊に新年奉祝
特殊意義を强調

【東京國通】聖戰裡に迎へる紀元二千五百九十八年の元旦この朝こそ天壤無窮の皇威を奉戴する日本國民が鐵火の試練を受けて世界の光となることを誓ふべき榮ある佳き朝である、國民精神總動員本部では新年を如何に祝ふべきかは二日の各省次長會議で協議の結果時局の重大性に鑑み擧國一致盡忠報國、堅忍持久の趣旨のもとに左の諸項により祝賀を行ふことに決定した

一、官廳、學校等の祝賀式は前記の趣旨を徹底させる

一、元旦午前七時を新年奉祝の時間とし、各町村において神社、學校、公會堂等で擧式しこれに參列せぬものは適宜その時刻に宮城を遙拜する

一、この時間には汽笛、サイレン、鐘などを一齊に吹鳴せしめる、ラヂオもこの時刻に新年奉祝の時間の放送を行ふ

以上諸項により事變下の新年の特殊意義を强調する

行倒れ撲滅に各機關總動員
同情週間救濟米補給を行ふ

師走に入つてからは氣溫も急低下し三日の最低は零下廿一度一分、四日の最低廿度二分と凍てついた、水銀柱は尚も嚴寒のどん底に向つて容赦ない下降を續ける、かうした時職を離れた苦力の群や阿片患者が或は行倒れとなり街頭に無殘な姿をさらし、或は生きんが爲に犯罪を惹起し每年冬季滿洲の名物となつてゐるが民生部內中央社會事業聯合會では樂土滿洲に相應しからぬこの名物の撲滅を期して今年度は中央聯合會で統制をとり全滿一齊に同情週間、救濟米の補給等を行ふべく大急ぎで計畫に着手した

陳列館設立 積極運動

豫てより觀光協會が主體となつて運動を起し總務廳、民生部始め各方面に陳情書を出して急速設立方を要望中であつた陳列館設立運動は各方面に反響を呼び起してゐるが奉天觀光聯盟本部でもこれが趣旨に大いに贊同し今後は觀光聯盟本部が主體となつて更に積極的な運動を續けることとなつた

大連の圖書館 幼稚園等 關東州に移讓

滿鐵地方部殘務整理委員會の所管となつてゐる大連にある伏見臺、日本橋兩圖書館ならびに北公園以下九幼稚園補助幼稚園全部を來年四月一日三百萬圓をもつて關東州廳に移讓する豫定である、なほ星ヶ浦公園は鐵道總局管下の公園となり電氣遊園は來年中にはその名も小村壽太郎侯に因んで小村公園とし滿鐵が引續き經營を續ける豫定である

西崗北方で共匪と遭遇 匪首以下を殪す

第一軍管區司令部發表＝三日着情報によれば、撫松縣治安隊長の指揮する第一、二連は去る二日早朝西崗を出發同地北方地區を掃蕩中午後一時頃西崗北方十キロ九〇〇高地において有力共產匪を發見これを包圍攻擊一時間にして匪首以下三名を殪し三名を捕虜にしてこれを潰滅した

昭和十二年を顧みて (四)
少年赤十字や航空少年團誕生
鄉軍分會の飛躍的充實等

日本赤十字社では此の事變下に有つて今や準戰時體制に入り各地病院の救護班の活動等皇軍と共に第一線に立つて目覺ましい活躍を行つてゐる、昨年末旅順より新京に移つた同社滿洲本部及び新京支部も此の渦中にあつて表面的な華々しい事業も無く本年度の赤十字デーも例年に比して淋しい感を與へたが、其の內部的活躍は非常なものであつて滿洲各地に奮闘してゐる臨時救護班は國內治安肅正の聖戰に前線各地を轉戰する皇軍と共に行動を共にして一日の暇も無き狀態である、此の努力に感激した市內各小學校三年生以上の兒童を以て組織されてゐる少年赤十字團では慰問袋を作成して送つた美談も有る

◇　◇

かくの如く學校兒童の愛國心も又事變と共に熱烈に燃へて質實剛健への途へと進み自治的愛國運動は次から次へと學校側の指導を待たず行はれてかの太原陷落の朗報入つた十一月八日市內全學校兒童生徒の大戰捷旗行列は全市に勇士に贈る少國民祝捷の感激譜を高らかに唱ひしことは記憶に新しいであらう、しかも從來の少年團、少年赤十字團の二少年團と別個に新しく滿洲飛行協會の手に依つて航空少年團が六月卅日結成されて防空演習に參加活躍した外、八月二十八日より三日間八島小學校にて飛行機模型展覽會を開催少國民に空の知識を與へた

◇　◇

次に非常時日本を双肩に負ふ豫後備、退役、補充兵の力强き團結在鄉軍人會新京聯合分會の一年を顧みるに國家有事多端の本年こそ此の會が使命遂行の重大なる年であつた、紀元節のよき日二月十一日關東軍勤務者を以て新しく結成された軍分會を加へて從來の第一より第五迄と電業、電々滿炭、中銀と十分會其會員數は今や萬を越へ帝國の前途に一分の危惧の念をも與へない力强さを示してゐる、其の仕事として徵兵檢查援助簡閱點呼豫習、入營兵豫習教育並に送迎、補充兵教育、射擊、武道大會と枚擧するに遑が無いが本年度は何れも事變下會員の自覺と指導者の熱心と相俟つて非常な好成績を示した、特に前線從軍の日來るも直に御奉公が出來る樣にと補充兵教育は各分會共例年に見ざる成績を示して其の回數は二十四回に及んでゐる、外に傷病兵送迎四十八回、遺骨送迎五十二回、軍縮送迎五十八回といふ數字を示してゐる、建國祭、陸軍記念日、海軍記念日、防空演習に參加した外事變記念日九月十八日の前夜より國都警備演習を行つて好成績をあげた、本年特記すべきは思ひ起す昭和六年滿洲事變突發の際の會員の活躍に對する賞賜物品授與者が二百五名にのぼり、其の授與式が二月一日記念公會堂においてあげられたことである、更に國民精神總動員運動に呼應して消費節約を旨として目下西公園テニスコート跡に建築中の國防會館の建設費として二萬六千六百圓を分擔醵出してゐる、最後に記憶すべきことは在鄉將校教育を十月二十四日から三日間にわたつて行ひ新兵衞の研究をしたことであつて、これは來春早々結成されることに成つてゐる在鄉將校團の前提として行はれたものでこれに依つて在鄉軍人會は益々强化國防の重大なる礎となるのである

滿洲卓球協會
明年度スケジュール決定

滿洲卓球協會では三日午後六時半より中銀倶樂部に於て理事會を開き、田中體育聯盟主事以下渡邊、土屋、金子、西牟田、法林、海野、奧田、川崎、奧村、坂本の各理事、幹事出席

一、規約改正の件

一、國際式硬式採用の件

一、ボール公認に關し從來はAJPAのみなりしをPAも公認し硬球はAJPA並にPA公認の件等を協議それ〲決定し來年度の役員並にスケジュールを左記の通り決定した

スケジュール

二月六日(新京)滿人個人選手權大會

三月六日(奉天)全滿都市對抗卓球大會

三月二十日(奉天)滿鮮對抗卓球大會

十月二十三日(新京)全滿硬式選手權大會　シングル、ダブルス、ミックス

十一月　全滿中等學校男女選手權大會

備考－ランキングは全滿個人選手權、全滿都市對抗、及び各支部主催大會を參考として決定す

硬式選手權大會は本年度はオープンとす

△役員

會長　李交通部大臣

副會長　高井恒則

理事長　和田芳男

理事　渡邊　西牟田、法林、林、土屋、金子、嚴尾、渡邊、川崎、作花

幹事　金、土村、坂本、海野、橋本、小石、奧田、奧村

技術員　土村、富田、奧田、海野

白衣の勇士 內地へ凱旋

北滿に奮戰した傷病兵五十八名は四日午後四時卅分哈爾濱より着京、これに新京陸軍病院に入院中の卅四名が加はり同四十分南下した、なほ一行には公主嶺よりさらに四十一名の傷病兵が加はる筈、また某方面で名譽の戰死をとげた英靈の遺骨百餘體は、四日午後七時卅分奉天より着京、內六體は〇〇部隊に安置、不日內地へ無言の凱旋をするが、その餘の遺骨は五日午前零時哈爾濱へ向ふ

衆議院慰問團 十五日頃來滿

小山谷藏氏を團長とする衆議院議員北支政治經濟調查團一行は二日羽田發飛行機で大連經由北支に向つたが各地視察のうち十五日頃入滿の豫定である、一行の顏觸は左の通り

▲團長小山谷藏▲前田房之助▲中島彌團次▲宮澤胤男▲加藤鯛一▲池田秀雄

福祉委員助成會 御下賜金傳達

新京福祉委員助成會に對する御下賜救療費一千圓は此の程滿鐵本社から傳達されたが關係者一同聖恩に感泣してゐる

前ゲ・ペ・ウ長官 死刑に處せらる

【ロンドン三日發國通】イブニング・スタンダード紙の報道によれば、ソ聯邦前ゲ・ペ・ウ長官グリゴリヴッチ・ヤゴダは二日午後テロ行爲ならびに政府首腦に對する暗殺陰謀組織の廉をもつて死刑に處せられたといはれる、ヤゴダは前長官メヌンスキーの死後ゲ・ペ・ウの長官として一時は飛ぶ鳥を落す勢だつたが、ゲ・ペ・ウが內務人民委員部へ改編されたのち突如遞信人民委員へ左遷され、さらに今年三月職務怠慢の廉をもつて罷免されたもので、反革命テロ團の首領と睨れ以來監禁取調べを受けてゐた模樣である

滿鐵辭令

(新京支社)

大連列車區車掌　職員　小野崎通健　新京支社庶務課勤務を命ず(十二月一日)

審業部庶務課　職員　山崎　進　新京支社勤務を命ず(十二月三日)

治安部三氏來社

治安部警務司檢閱科長田中要次、同科出版股長雜又次郎、治安部警務司刑事科長李金麐の三氏は四日挨拶に來社

錦州鐵路郵政局長來社

錦州鐵路郵政局長に新任の郵政局事務官山口萬作氏は五日午前十時發列車で赴任に決し四日挨拶に來社した

班禪喇嘛死去

【上海四日發國通】ニューデリーよりの報道により蒙藏委員會特別委員兼青海省政府委員班禪喇嘛は去る十一月三十日青海省玉樹附近において死去したことが判明した、班禪喇嘛は過般西藏へ歸還したともいはれてゐたが其後歸藏の意圖を拋棄して支那に止まつてゐたことが明かにされ、さらに最近拉薩よりの報道ではかれが病に倒れ各寺院では全快を祈る修行儀式が行はれつゝあるとも傳へられてゐた

今井大僧正遷化

【東京國通】日光山輪王寺今井大僧正は數日來健康勝れず加療中の處急性肺炎を併發三日午後二時十五分遷化した、享年六十五、師は輪王寺門跡として人格識見高く社會事業に貢獻深く師の遷化は惜まれてゐる

日の出を拜する集ひ

五日新京日の出時刻午前七時五十六分西公園誠忠碑前にて市民早起會行事終了後忠靈塔參拜

メソヂスト教會

一、日曜學校　午前九時半

一、日曜禮拜　午前十時半　說敎「心の故鄉」　山口牧師

一、夕　拜　午後七時半　讃美歌練習、傳道說敎　山口牧師

日本基督教會

一、日曜學校午前九時

一、聖書學校午前九時四十分

一、朝の禮拜午前十時半　說敎「碎けたる魂」　武藤富男

一、夕　拜　午後七時半　說敎「御國を來たらせ給へ」　山田定治

あす(五日)

▲煤煙防止燃料經濟週間第四日

▲煤煙防止と燃料經濟展、三中井

▲スケート記錄會

▲治廢記念展、寶山

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇傷病兵慰問の夕(東京)春風亭柳枝外

▲九・〇〇連續ラヂオ小說「日輪(下)」東山千榮子外

煤煙防止と燃料經濟週間

週間第四日目行事豫告

(A)煤煙防止と燃料經濟展

場　所　三中井五階ギャラリー

日　時　明五日(日)午前九時より午後六時まで

(尚各種相談は正午より四時迄石炭の焚方パンフレット無代進呈)

(B)第二回焚き方實地指導實演

講　師　山崎、森井兩氏

通　譯　史書麟氏

日　時　明五日(日)午後一時半より(約二時間)

場　所　常盤町滿鐵集合社宅煖房室(新京商業學校北隣)

主として手焚きに就て實技指導、火夫に對し

主　催　首都警察廳　新京煤煙防止委員會　新京衞生工業會

後　援　大新京日報社　新京日日新聞社　日滿商事株式會社

(期間中の行事其他に就て御問合は市公署河崎まで　電二－二一一一　兩講師の焚き方の個別的實地指導希望の向は至急日滿商事燃料相談部へ申込れたし　電二－三二一一)

吉野町の人氣者不二屋の京ちやん、まだ十七歳の若さ毎日五分のびた、一寸のびたと背の高くなるのを喜んでゐます「京ちやん段々近代的女性になりますね」とおだてると▼「えゝ皆様の御指導のおかげで、何でも知ることが必要ですから今後共宜しくお願ひします」と仲々の御挨拶▼そこで或人が「京ちやんダンス知つてゐるか、何知らない、教へてあげるから一度ホールへ行きませう」と誘ふと「えゝ行きたいわ、でも私皆さんのサービスでとても忙しくて行けさうにもありませんわ」とやんわりと斷はられた▼こんな手も皆さんの御指導で習つたのださうで、かうなると皆さんの御指導も考へものです

雑音

長春座五日よりの番組は「男の償ひ大會」の豫定であつたが、又變更となつて登場するのが清水宏の「風の中の子供」とジャン・ミュラーとマリー・ベルの「装へる夜」の二本である▼祭するに豐劇あたりから滿映さんに申入れがあつたものと思はれるが、折角豫告宣傳までやつてゐるのに替へられる方の身になつてみれば割りの合はない話である、猫の目玉の如くプロが變るんでは業者たるもの、おち／＼安心して仕事も出來ない事になる▼滿映さんたるものも一たん決めたものを端から突つかれたからと言つて遽に變更するやうではそれは餘んまり權威のなさすぎるといふもの、抗議する方にはするだけの理由があつての事であらう、ならば何ぜ抗議されるやうな事をやつておらなければならないのか、そんな事の起らないために滿映さんには番組係といふものがあるのだと思つてゐたらさうではないらしいやうな具合だもつと確つかりして貰はんと困る▼何時までも業者に不安を與へるやうなやり方は愼しまなければならない、「配給統制」「興行管理」の本旨にも悖るといふものだ、重ねて善處を要望したい▼豐樂寫眞替り「男性對女性」と「荒城の月」の二本、松竹全プロ、質量相伴つた編成である

日曜　丙寅　先勝　平　星宿
十二月五日　舊十一月三日

- ●一白の人　利益を擧ぐると共に名譽亦獲得すべき吉日　甲と丁と亥が吉
- ●二黒の人　身心を打ち込んで事を行ひ難く失敗に歸す　丙と壬と寅が吉
- ●三碧の人　踠けば踠く程深味に引き入れらるゝが如し　甲と乙と丙が吉
- ●四綠の人　漸次良好に向ふも目上との衝突と金談注意　甲と坤と辛が吉
- ●五黄の人　緩む弦にては矢も遠きに達し難し緊張せよ　丙と北と寅が吉
- ●六白の人　人の渦に卷込れし自動車は立往生の外なし　甲と南と壬が吉
- ●七赤の人　枯野に行暮れし旅人の如し往先は未だ遠し　丙と丁と庚が吉
- ●八白の人　物議を生じ易き日我意高慢は深く愼むべし　庚と壬と艮が吉
- ●九紫の人　利益は念頭に置かず基礎を固むるが第一義　甲と辛と壬が吉

東邊道鐵鑛採掘の代償方法決定す

＝純益五分を政府に納入＝

最近當局の調査に依て漸次その老大なる資源の一部を現はし來つた東邊道鐵鑛の開發は今後日滿に於る重工業の根幹をなすべく、從つて今般設立されることになつた重工業會社の事業中に於ても最も重大なる部分を占めるものと豫想されてゐるが、重工業會社は同地方鐵鑛による製鐵事業に關しては昭和製鋼所とは別に新たな子會社を設立する筈である、而して同地方の鐵鑛資源は當然滿洲國政府より右會社への現物出資となるのでその評價々格が問題となつたが同地方の鐵鑛が調査の進捗に依て漸次その偉大さを增して來る實狀に鑑みその評價に困難を感ずるので結局無評價でなつたがその代償として同製鐵會社より純益の五分を政府へ納めることゝなつた、從つて同資源は滿洲國政府より重工業會社へ出資する二億二千五百萬圓のうちには計算されないものである

大豆の增量

中央會答申案と業者の意見

各市場とも先頃とは見違へる程活況を呈した、この日新鐘は約十圓方暴騰した

特產物國營檢査に關し大連三團體および日滿實業協會支部は曩に當局へ陳情を行つたがこれにつき滿洲國產業部の滿洲特產中央會への諮問に對する中央會の答申案は

一、黃大豆、改良大豆、白眉大豆（間島大豆を除く）の增量實施を延期するを可とす

二、豆粕の增量は明年一月より實施するを可とす

といふのであるが、業者は大豆の增量を延期することは妥當であるといつてゐる、明年十一月から實施してはとの答申は恐らく十月からとの誤りであらうと判斷してゐる、豆粕の增量のみを明年一月より實施すべしとの論は受取り難い、大豆の增量を延期するにも拘らず製品たる豆粕には增量を一月から適用することは理論的にも成立たないと思はれるし、實際上にも支障を起す虞れがあるから、豆粕も大豆同樣の取計ひを考慮されるやう希望してゐる

天津地方に邦人紡進出す

今後は更に奥地へ

【天津三日發國通】天津地方における邦人紡績の進出は事變前既に邦人經營の既設工場五、新設計畫中のもの七、日支合辦の工場一、および新增設計畫の錘數八十萬錘、織機臺數二萬臺といふ情勢を呈し一兩年前の實情に比し全く面目を一新した、即ち一昨年までは天津地方の紡績工場は裕元、恒源、北洋、華新、寶成裕大の六工場があり、裕大を除く全部は支那人經營であつた、昨年夏裕元および華新が鐘紡に買收されて公大第六、第七となり、寶成が東拓および伊藤忠の手に歸して天津紡績公司の經營に移つたのを始めとし、本年五月には裕豐が操業を開始しこれと同時に新たに上海紡、双喜、吳羽、倉敷岸和田、大日本紡、內外棉の各社が競つて天津進出を企圖し、何れも事變のため一時停頓はしたが既に敷地買收を終り工場建設に着手するばかりとなつてゐる、在天津某社の本年六月末における調査によるとこれ等各社の新增設計畫は左の如くである

△增設

社名	錘數	織機
裕大（天津紡）	一〇、〇〇〇	―
寶成（天津紡）	四〇、〇〇〇	二、五〇〇
公大第六（鐘紡）	一〇、〇〇〇	二、〇〇〇
公大第七（同）	六〇、〇〇〇	二、〇〇〇
裕豐	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇
塘山華新	三六、〇〇〇	―

△新設

社名	錘數	織機
上海紡	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇
双喜紡	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇
吳羽紡	一五〇、〇〇〇	三、五〇〇
倉敷紡	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇
岸和田紡	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇
大日本紡	一〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇
內外棉	五〇、〇〇〇	一、〇〇〇

右計畫完成の曉は天津の邦人紡績は錘數約百萬錘、織機二萬二千五百臺を擁するわけで天津地方における大發展は既に飽和狀態にありといふべく今後は保定、石家莊、太原等の奥地および塘沽その他下江地帶方面への進出が期待され鐘紡は既に石家莊の大新紡を買收開發することになり、他方天津における支那人紡は恒源、北洋、達生三社に過ぎず何れも誠孚信託公司の經營に移つて、事變以來日本人顧問を招聘し、皇軍慰問に努める等將來日支合辦計畫に向ふ氣配が濃厚である

戰況有利に新鐘十圓高へ

【東京國通】戰況ますく有利に展開するとゝもに株式市場は春高人氣を期待し三日は早朝より買人氣出で短期は一齊上放れて寄付後、鐘紡の續暴騰に長期も軒並に一、二圓乃至三、五圓高となつた、實物市場も五萬內外の商內あり

亞鉛鑛業の二會社誕生す

――今後の活躍注目さる――

重要地位を占める筈である軍需品その他に重大なる需要を有する亞鉛については滿洲に相當の資源がありながらその開發があまり行はれてゐなかつたところ、今回左の二會社が誕生、既に產業部の許可を得てその創立を見たので近く事業を開始することゝなつた

△天寶山鑛業株式會社

大正四年飯田久一郎氏によつて設立された南滿洲太興株式會社は朝鮮および滿洲において諸種の事業を行つて來たが、今回滿洲國における事業を獨立せしめて新會社を造ることゝなり天寶鑛業が誕生したものである、同會社は資本金七百萬圓で新京に本社を置き、間島省延吉縣の天寶山において亞鉛と共に鉛、銅の鑛業を行はんとするもので、各品目についての詳細計畫は左の如くである

亞鉛　既に年產六千七百瓲を出して日本における全產額の約廿パーセントを占めてゐるが、日本においても五萬瓲近くを輸入に仰いでゐる現狀に鑑み漸次その增產を圖る

鉛　第一期生產額二千二百瓲第二期生產額四千二百瓲を豫定してをり、その曉には日本の全產額七千瓲に對し

銅　第一年一千四百瓲より漸次增產し第四年には二千二百瓲を出す豫定である

△安奉鑛業株式會社

日本鑛業より出資し資本金百萬圓で奉天に本社を置き安東省鳳城縣靑城子鑛山において專ら亞鉛鑛業を營まんとするものである、これより採鑛に着手せんとするもので具體的事業計畫はその後となるが、日產系である關係上滿洲重工業會社創立の曉は當然その傘下に入るものと見られる

パルプ四社本年度資材契約

日滿、滿洲、東滿、東洋の在滿パルプ會社四社の康德四年度パルプ資材の割當て分野は日滿パルプは滿洲林業より供給を受け、他の三社は滿洲國より直接官行斫伐材の供給を受けてゐるが、これが割當て數量は一社當り七萬石平均、計廿一萬石で、十月末日迄の實際契約濟の分は三岔口材、明月溝材で合計十五萬五百石で今後の不足分は二道河子及び仙洞材を以つて契約されるものと見られてゐる、三社の三岔口、明月溝材の契約高は左の通り

△東滿パルプ 三岔口材	三二、〇〇〇石
明月溝材	一八、五〇〇石
合計	五〇、五〇〇石
△滿洲パルプ 三岔口材	七〇、〇〇〇石
△東洋パルプ 三岔口材	三〇、〇〇〇石
合計	一五〇、五〇〇石

朝鮮石油が滿洲に進出

新京に代理店

【京城國通】朝鮮石油は總督府の石油業令による鮮內の石油政策から鮮內の油給需要に對しては割當通りの供給を行つてゐるが、生產餘力をもつて滿洲に進出計畫を進め總督府よりもすでに滿洲向輸出の認可を得たので新京に代理店を設置して滿洲國における販路を積極的に開拓することゝなつた、而して輸出石油は滿洲國における石油專賣によつて揮發油の輸入は原則として認められてゐないので機械油潤滑油を主として輸出する方針である

商況欄　四日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	六磅一九志二片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片一六分九
同先限	一九片一六分七
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	四九留比一六分一四
スチール株	五八弗四分一
アナコンダ株	三一弗八分三

▲市俄古小麥

十二月限	九四仙八分七
五月限	九二仙二分一
七月限	八六仙一六分三

▲紐育棉花

現物	八仙〇八
十二月限	七仙八八
一月限	七仙九三
三月限	七仙九八
五月限	八仙〇一
七月限	八仙〇六
十月限	八仙一〇

▲印棉

ブローチ	一六一留比八分七
オームラー	一四五留比四分一
ベンゴール	一三六留比〇〇

▲カルカツタ麻袋

靑筋	二三留比一六分五
鐵筋	二一留比〇〇

▲外國爲替

英米爲替	四弗九九仙八分一
米日爲替	二九仙一二
米支爲替	二九弗六五仙
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片三二分九
印日爲替	七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替

上海向	九七弗五〇仙
天津向	九七弗五〇仙
紐育向	二九弗八分一
倫敦向	一志二片〇〇

金銀市況

●上海標金　本寄 ―　歩 ―

▲阪神爲替

對米賣	二九弗八分〇〇
對米買	二九弗〇〇
對英賣	一志二片三二分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日會	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

各地商品市況

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
日新	―	―

▲大阪綿糸

	寄付	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
四月限	[illegible]
五月限	[illegible]
六月限	[illegible]

▲大阪人絹 當限 [illegible]　先限 [illegible]

▲大阪期米 當限 [illegible]　中限 [illegible]　先限 [illegible]

▲橫濱生糸 現物 [illegible]　當限 [illegible]　先限 [illegible]

各地特產市況

▲新京

	寄	引
現物	―	―
大豆	三、一〇	―
高粱	―	―
玉蜀黍	―	―
小豆	―	―
米	―	―
包物	―	―

▲大連

●大豆　十二月限、一月限 ［illegible］

●高粱　十二月限、一月限 ［illegible］

●豆　袋入、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、三館豆 ［illegible］

●豆粕　現物 ［illegible］

●豆油　十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、現物 ［illegible］

青春の宿（六〇）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫　（上演映）

相寄る魂（三）

ぎよつとした風に、千鶴子の肩から手をはなした銀藏は狼狽した目をとりさめもなく走らしたすゑ、電話の受話器をとりあげた。

『もしく――』

『庶務課長さんですか……お邸から、お電話でございます……おつなぎいたします』

交換手にかはつて

『もしく、若旦那さまでゐらつしやいますか』

『さうだ――』

『あの、わたくし、美代でございますが、奥さまが、お怪我をなさいまして……』

『なに――お母さまが？――』

『いゝえ若奥樣でございます……』

『どうしたのだ？』

『自動車が、衝突をいたしまして病院へはこばれまして、すぐ、輸血をなさいましたやうで……』

『どこだ、病院は――？』

『お邸の下の富岡さまでございます』

『誰か、いつてゐるのかね』

『はい、老奥さまと、多嘉さんがすぐ、おいでになりました』

『お父さまにはしらせたかい……』

『いゝえ……』

『東西生命にをられる筈だ――僕は、すぐ、ゆくから、お前から電話をかけてくれ――それから曜子はどうした』

『お孃さまは、お出かけ先がわかりませんので……』

受話器をおいた銀藏の顏は血のけもなくまつ蒼になつてゐた。

――いま、自分は、千鶴子に對して、不倫な行爲をはたらかうとした……その矢先にこの電話をうけるとは……？

銀藏の心を、自責の念がさいなんだ。

おさくとふるへた眼を、

不安げに目をみはつてゐる千鶴子にむけて

『家内が、怪我をしたのです――』

と、かすれた聲でいつた。

『まあ――』

千鶴子の聲も、狼狽にかすれる

『僕は、歸ります……から……』

と、銀藏は、視線をそらしていつた。

『もし、曜子から電話がありましたら……午後、あなたへ電話をするといつてゐましたから……そのことをいつて直歸るやうに傳へてくれませんか……邸の側の富岡病院にゐるといつて下さればわかりますから……』

『承知いたしました……』

銀藏は、まだ、何かいひたいらしかつたが――そのまゝ出ていつた。

千鶴子も、つゞいて、廊下に出たが……その後姿を見送り、會計課室に歸つても、しばらくは、呆然として、何を考へる力も――いや、何を考へてゐるかも意識することが出來なかつた。

が、やがての時がたつてふとさき、自分の反省する餘裕ができたとき、自分が、いま、何を考へてゐたのかに氣づくと千鶴子は、狼狽した。

――奥さまは、おなくなりになるかもしれない……この怪我がもとで……

まあ、わたしは、何を考へてゐるんだらう――千鶴子ははげしく頭をふつて、その考へをふりすてたが――また、しばらくするとちやうど、人の隙をみてこそくと出てくる鼠のやうに、その考へが、頭の隅で、活動してゐるのだつた。

と、二時近く――

『千鶴子さん――』

と、うしろに自分をよぶ聲をきいて、ふり返ると、そこに曜子がたつてゐた。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 一ケ月拾五錢（郵税）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用③三二二五 營業局專用③三二〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

句容へ七百米に迫る！
クリークを挾んで激戰中

【丹陽四日發國通】丹陽より長驅西進中のわが○○部隊は三日夜白兎鎭に達し四日早朝には行郷鎭、太平庄等の諸部落を輕微な抵抗を排除しつゝ奪取しさらに猛進を續け正午頃には句容の警戒陣地と見られる王家邊に肉薄した

【五里舗四日發國通】四日正午鎭江、句容街道の要地王家邊を占據したわが軍は敵を壓迫しつゝ句容に迫り、同午後五時半句容市街の東方七百米の地點で南北に走るクリークを挾んで交戰中である、連日の敗戰に神經過敏となつた敵は既に敗退の色現はれ句容飛行場と覺しき方面に大火災が起り黒煙天に沖してゐる

郎溪の線を越えて猛進

【東京國通】四日午後四時半大本營陸軍部發表＝（一）上海戰線の各部隊は十二月二日それぞれ江陰要塞、丹陽、金壇、溧陽を攻略の後、十二月三日概ね磨盤山々脈より郎溪の線を越え西進せり（二）空中偵察によれば敵は鎭江及び南京市外に火を放てるものゝ如し

南京最後の抵抗線早くも崩潰

溧水、水陽鎭を占據

【上海四日發國通至急報】わが軍は四日午後四時半溧水に殺到、一角を占據し日章旗を掲げた

【上海四日發國通】上海軍四日午後六時發表＝太湖南側地區より南進合擊の體勢を取りつゝありしわが軍は杭州灣上陸部隊をもつて十二月四日午前遂に溧水（南京南方十五里）水陽鎭（蕪湖東方十里）の線を占領し、こゝに南京包圍の戰略的基礎體勢を完成せり

【上海四日發國通】白馬橋より前進を續けたわが軍は磨盤山脈を横斷、周村を突き、ついで毛家庄に迫り敵を壓しつゝ一氣に溧水縣城に殺到し午後四時半城壁に日章旗を掲げ目下城内西北端に向け殘敵を掃蕩中である

南京前衛陣地移動
城内防備に大混亂

【上海四日發國通】某所着確報によれば、三日來南京前衛陣地より城内に向け移動を開始した蕪湖の敵大部隊も、揚子江北岸に渡河中といはれ、わが軍の加速度的猛進とゝもに敵戰線内部の動向には非常な注目が拂はれてゐる

【ニューヨーク三日發國通】三日ニューヨークに達したエー・ビー南京電によれば今や目前に迫りくる日本軍の進攻に南京は最後の抗戰準備に死物狂ひの態であるといはれるエー・ビー特派員は三日南京市の内外を一巡して見たが、到るところに塹壕を掘りめぐらしバリケードを構築して物々しい光景を呈し各地から增派された新規の軍隊は續々南京の周圍に配備されてゐる、支那軍の作戰は日本軍が南京に近づくや直ちに橋梁を爆破するにあるらしく、目下多數の技師を動員して準備中である、また支那軍はいよいよ南京が支へ切れぬ場合には市中の建物はすべて爆破、または燒拂ひ退却する意向といはれる、一方最近の空中戰ではソヴイエト人操縱士が活躍してゐることについて某支那側要人は三日ニューヨーク・タイムス特派員に對し次の如く語つた

日本軍との空中戰で落ちた支那機一機には二名のソヴイエト飛行士が乘つてをり右兩名も重傷を負つた

焦慮の蔣介石
米ソに最後の哀願

【パリ三日發國通】皇軍鵬翼的進擊の前に南京の陷落は今や時日の問題と見られるがフランス外交通ベルチナック氏が三日支那大使館筋から得た情報として

蔣介石は襄勢の挽回に目下ソヴイエト聯邦ならびに米國政府に對し最後の對支援助を懇願中

と報じてゐる、右に對しどうしても米ソ兩國が動かない場合蔣介石は獨伊兩國政府に對し和平交涉斡旋方要請する意向といはれる

英國外交機關上海へ移轉
エー・ビー報道

【ロンドン三日發國通】駐支英國代理大使ハウ氏は大使館員數名ならびに漢口フランス領事館員數名と共に三日午前漢口を出發し香港經由上海に向つたと傳へられるが、三日エー・ビー・ロンドン支局は英國大使館は更に重要書類を上海に移す計畫を進めてゐる旨左の如く報道してゐる

漢口の英國大使館當局は既に支那側から特別車輛を借切り香港經由上海に向り重要書類を移す準備を整へてゐる模樣である、右の計畫は既に日本側も諒解濟であるといはれ、英國大使館が外交活動の中心を事實上漢口から上海に移さんとしてゐることは頗る注目されてゐる

南京、除縣を猛空襲
二機擊墜、十一機爆破

【上海四日發國通】艦隊報道部四日午後六時發表＝海軍航空隊は四日午前十一時頃南京及び除縣飛行場を空襲、南京に於ては故宮飛行場格納庫を襲擊これを炎燒せしめ更に除縣では哨戒中の敵二機に對し空中戰を挑みこれを擊墜せしめたる外、地上待機中の敵十一機に猛擊を加へこれを破壞せり

【上海四日發國通】海軍航空隊○○機は四日正午又もや南京を空襲、大校場飛行場その他主要軍事機關に爆彈の雨を降らせた

【上海四日發國通】三木、野元、千田各海軍航空○○機は四日早朝より宣城を襲ひ敵第一線防禦陣地に終日反復爆擊を加へた

江陰要塞の鹵獲品

【東京國通】四日午後五時大本營陸軍部發表＝十一月二十八日以來わが軍の一部は揚子江の江陰要塞を攻擊中なりしが、十二月二日これを完全に攻略し左記兵器を鹵獲せり

十三センチ高射砲八門、十三ミリ高射機關銃一門、廿四センチ榴彈砲七門、二十センチ加農砲四門、十七センチ加農砲三門、十五センチ加農砲二門、十五センチ加農砲九門、十三センチ加農砲々身八個、百五十センチ探照燈一臺、同右各種砲彈藥六千發

中支戰局 十二月四日現在
日本軍 支那軍

吳鐵城海外大使に轉出

【香港四日發國通】廣東省政府主席吳鐵城は近く大使として海外へ轉出するに内定し省政府主席は余漢謀が兼任する事となつたと云はれる、右は時局柄益々重要性を加へ來つた廣東に對立的關係にある兩者をおくことの不利益なるに基く爲と見られてゐる

南京外人狼狽
避難地區準備

【上海四日發國通】さきに南京外國人によつて組織された南京避難民地區設定委員會ではわが軍の南京攻略間近きを知つて避難民地區設定を急ぎ委員長ジョン・レイブよりわが上海外務當局に宛て回答の催促をなすとゝもに、上海南市避難地區委員長欽父ジャキノー氏に對し川越大使および日高參事官を訪問督促を要請したのであつたが、欽父ジャキノー氏の南京宛返電は著しく悲觀的で委員會當局者はわが正式回答に一縷の望みをかけてゐるものゝその實現は殆んど見込みなきことは明かになつた、なほ支那側ではわが回答をまたずして避難民地區の準備を急ぎすでに十萬圓の資金と三萬俵の白米を用意してゐるとのことである

人民戰線派巨頭連
上海より姿を消す

【上海四日發國通】沈鈞儒、章乃器、王造時等抗日人民戰線派の巨頭等七名は、八月一日蘇州刑務所出所以來南京、上海を往來して戰線の再建に狂奔、事變發生以來主として上海に潜伏し對日抗戰をアヂつてゐたが、最近の消息によると皇軍の上海占領以來運動の根據地であつた上海を捨てゝ三々五々香港、漢口方面に向け四散しつゝあり、從つて彼等が大衆および青年インテリ層に呼びかけるべく論陣を張つた抗日雜誌等も漸次上海より影を沒するに至つた

國旗侮辱事件に
上海邦人激憤

【上海四日發國通】皇軍行進中における國旗侮辱事件に關し四日午後上海居留民有志は日本人倶樂部において協議の結果、五日午前十時より東亞劇場において「國旗侮辱事件居留民大會」を開催することに決定、甘濃民團長の開會の辭についで目擊者の報告ありついで決議決定後實行委員を擧げ大使、總領事、陸海軍最高司令官に決議文を手交する

決議要旨 皇軍行進中に一イギリス人の國旗侮辱事件の發生したことは國民として忍びず、帝國政府は嚴然たる態度をもつてイギリス政府の反省を促し嚴重糾明すべし

皇帝陛下
コルテーゼ氏の公使要請を勅許
政府、同意書を發送

イタリーの滿洲國承認に伴ひ十二月二日同國より特命全權公使派遣のアグレマン要請に對し滿洲國では四日駐奉イタリー總領事ルイヂ・コルテーゼ氏に左の如く同意書を發送した

書翰をもつて啓上致し候陳者本月二日附貴翰を以て貴總領事は貴國政府の訓令に基き駐奉天伊太利國總領事ルイヂ・コルテーゼをイタリー國王ならびにエチオピア皇帝の特命全權公使として滿洲國に派遣するにつき勅許を仰ぎたき旨御要請相成諒承致候本官はこゝに右御要請に對し御裁可を得たる旨通報するの光榮を有し候本官はこゝに貴官に向つて重ねて敬意を表し候 敬具

康德四年十二月四日
滿洲國外務局長官 大橋忠一
駐奉イタリー總領事 ルイヂ・コルテーゼ殿

伊承認通告文とアグレマン要請口上書

イタリー政府の滿洲國承認通告文並にアグレマン要請口上書は左の如くである

△承認通告文 駐奉天伊太利國總領事館は滿洲帝國外務局に對し茲に本國政府の訓令に基き伊太利ファシスト政府は一九三七年十一月廿九日附滿洲帝國を正式に承認せることを通報するの光榮を有す

△口上書 一九三七年十二月二日 滿洲帝國政府外務局

書翰を以て啓上致候陳者本總領事は茲に本國政府の訓令に基き在奉天伊太利國總領事ルイヂ・コルテーゼを伊太利國王並にエチオピア皇帝の特命全權公使として滿洲國に派遣するに付勅許を仰ぎ度旨滿洲帝國外務局を通じ上奏方要請するの光榮を有し候本總領事は茲に閣下に向ひ敬意を表し候 敬具

西曆一九三七年十二月二日
在奉天伊太利國總領事 ルイヂ・コルテーゼ
外務局長官 大橋忠一閣下

承認電報接受の確認書を手交

滿洲國外務局では三日駐奉イタリー總領事ルイヂ・コルテーゼ氏に對しイタリー政府よりの滿洲國承認に關する電報受領の旨の確認書を手交した

確認書

滿洲帝國外務局は駐奉天イタリー國總領事館に敬意を表し、こゝに駐奉イタリー國總領事館が本國政府の訓令に基きイタリー・ファシスト政府は一九三七年十一月二十九日附をもつて滿洲帝國を正式承認する旨御通報相成たる本月二日附口上書を領收するの光榮を有し候

康德四年（一九三七年）十二月三日
駐奉天イタリー總領事館

△　△　△

東明（河北省最南端）に巨彈
敵最高司令部を粉碎

【天津四日發國通】わが陸の荒鷲島谷部隊は四日午前十一時半河北省最南端黄河の南岸に在る東明に夥しい敵軍用自動車が輻輳しつゝあるのを發見、敵の最高司令部とおぼしき建物に巨彈の雨を集中し、これを跡形なきまでに粉碎したがこの爆擊によつて廿九軍の最高首腦部は潰滅せられたのではないかとみられてゐる

日支提携せよ
大名縣長各地に通電

【大名四日發國通】大名の治安は全く恢復し避難中の住民も次第に歸還し、物資の流通も圓滑に行はれ、市内の劇場は前線地方各地に魁けて四日より開場し、最前線地帶には珍らしく和かな情景を呈してゐる、この治安恢復振りに勇躍した大名縣長李忠平氏は連日縣内の村長その他の代表者を集め會議を開き協議の結果大名縣の治安恢復のみをもつて滿足せず、三日各縣治安維持會長に對し左の如き通電を發して激勵した

正義の日本軍ひとたび起りて固陋なる軍閥を驅逐す毅然として南京政府より離脫し鞏固なる日支提携をなすは民衆幸福の根源なり、明朗なるわが河北省を建設し將來歩調を一にし相互援助、共存共榮、民衆安居樂業の實現に努力せんことを提唱す

英、米抗議を
大橋長官一蹴

去る二日奉天駐在イギリス總領事バトラー氏並びにアメリカ總領事デーヴイス氏は外務局に大橋長官を訪問、それぞれ口頭ならびに文書をもつて荒唐無稽なる抗議を行つたが大橋長官はいづれの抗議に對しても堂々の論を吐きこれを輕く一蹴した、即ちバトラー英總領事の抗議なるものは滿洲國が建國とゝもに門戸開放主義を唱へながら政府は爲替管理法を發動し事實上日本以外第三國の進出を拒んでゐるやうに見えるが、これは建國當時の宣言に背違してゐるのではないかといふのであるがこれに對し大橋長官は

滿洲國と日本は日滿議定書に基き特殊關係におかれてゐるのである、若し英國が特殊扱ひを望むなら英國は當國を承認し適當の條約を結べばよいのである、しかるに英國は當國の獨立さへも認めてゐない現狀であつて貴官の抗議は的外れも甚しい

またデーヴイス米總領事は哈爾濱の米系銀行ナショナル・シテイ・バンクが日本の治外法權撤廢とゝもに十二月一日より外國法人法を適用されたが、これは未だ治外法權を保有する當方にとつては迷惑なことであるとの抗議を持込んだのである、これに對しても

滿洲國は建國とゝもに當國を承認せざる諸國の治外法權を當然認めてゐなかつたのである、然し從來は特に恩惠的取扱を行ひ來つたが日本の治外法權撤廢と同時に第三國の法權も全然效力なきことを中外に聲明してゐるのであるから、貴官の抗議は一考の價値もない

と說明したるところ英、米兩總領事とも諒了して引下つた

英、對支武器供給を制限

【ロンドン三日發國通】エー・ビー・ロンドン支局員が三日報道するところによれば英國側は最近事態紛糾し對日關係惡化するを恐れ香港經由對支軍需品供給を極度に制限しつゝある模樣である

重工業副社長に小日山昭和製鋼社長就任か

【大連國通】重要用務を帶びて東上中の小日山昭和製鋼所社長は、四日あじあで歸連、直ちに松岡總裁を星ケ浦の總裁邸に訪問、重工業會社問題につき重要協議をとげた、同氏は五日一應歸鞍、近く來滿する鮎川重工業社長と新京において重要協議を行ふ模樣であるが、これにより小日山氏の滿洲重工業開發會社副社長就任は殆ど確定的とみられるなほ松岡滿鐵總裁も一兩日中に赴日、滿鐵今後の問題につき中央政府と打合せを行ふ筈

コルテーゼ氏昨夜歸奉

イタリーの滿洲國承認書捧呈のため滯京中の伊太利奉天總領事コルテーゼ氏は、四日皇帝陛下から伊國の特命全權公使要請に對し勅許があつたので同日午後四時四十分發列車で歸奉した

永樂町小火

四日午後十一時廿分頃永樂町三丁目三一新京木材工作公司藤岡織太郎方工作工場より發火、火は天井に燃燒大事に至らんとしたが、馳せつけた祝町消防隊の活躍によつて約三十坪を燒失同四十分鎭火した、原因は傭滿人のストーブの火の不始末よりらしく損害取調中

人事往來

▲武内時之助氏（官吏）四日來京國都ホテル ▲蒲池政司氏（畫家）同 ▲釘宮松三郎氏（商業）同向陽ホテル ▲板永剛藏氏（同）同 ▲本並松友氏（會社員）同 ▲内山廣治氏（東洋棉花）同 ▲松本孝之氏（特產商）同滿蒙ホテル ▲岡村一二氏（同盟記者）同

偶語

非常時局に處する虛禮廢止運動は各機關猛烈に叫びをあげ續々忘年會年賀廻禮贈答品、年賀狀の廢止が申合されてゐる▼この虛禮廢止運動に關聯して神國日本傳統の門松は如何にすべきかに迷つてゐる向もあるやうである▼或る人の說によると日本は神國である我等國民は神の子である▼太古神を祀るに二本の新しい木を立てゝ場所を淸めるしるしとした、これが新年を祝ふ門松の由來である▼日本人が門松を立てる事は守護神を祝ふ嚴肅なる式事である▼神の御稜威により一國一家の安泰を祈願するお祭りである▼從つて非常時であらうが戰時であらうがこの祭事をゆるがせにしてはならぬ▼國民に敬神の念をゆるがせにするやうな思想が充滿したらば國の前途は憂慮あるのみである▼門松は絕對に廢止してはならぬといふのであるが一理ある說である▼要は華麗に失せず神事の嚴肅を損じない程度に存續することは神國日本の傳統的精神から見て差支へなきことであらう

社說　英國外交の矛盾

一

最近の國際政局に消退した英國の態度は甚しく奇妙なものがあつた。第一にスペイン問題に關してさうであり、次に極東問題に關してもまた然りであつた。スペイン問題に關する英國の態度には變轉の跡があつたが大體の大筋は佛ソと組んで國際的人民戰線の陣營を結成し、左翼主義の政權を支持するに努めたものであつた。近年の英國はイデオロギーに基づく國家間の結合を排するやうに言ひながら、實はそれと明らかに矛盾する行動に出てゐるのである。しかも不干渉委員會とか監視隊とか或ひは交戰團體資格承認問題等について英國の態度ははつきりせず逡巡曖昧を極めたのであつた。スペインの事態が長期に亘つて擾亂を續けてゐるのはかゝる英國の政策にも影響されてゐることが多いのである。」

二

極東問題に關して英國の取つてゐる態度も非論理的なものである。それにはスペインに對する態度との矛盾が第一に指摘される。彼に對しては不干渉の音頭を取り、これに對してはあらゆる術策を盡して干渉介入の手段を弄したのである。われ〳〵の寛容を以てしても我慢し難いやうな行動が多々あつたことは周知の所である。而して國際聯盟の力及ばずと見れば九國會議を召集し、九國會議が無力を暴露すれば對日共同行動とか何とかを以て威嚇しようとする等、その態度は眼に餘るものがあつた。一方に不干渉を賣物としつゝ他方では極端なる干渉を企てる如き、公平誠實といふものは其處に見られないのである。われらが英國外交を非論理的であると言ふ所以である。

三

思ふに、利己的打算、自國權益の維持擴張といふものに汲々たるが故にこそかゝる態度に出でざるを得ないのであらう。イデオロギーや不干渉論や條約神聖論の如きは口頭禪たり看板たるに過ぎぬのである。口を開けば世界の平和を說く。しかし大體今日の世界不安はいはゆる持てる國たる英國等が率先してブロック經濟を形作り資源、金融、貿易人口等の自由な國際的流通を抑塞封鎖し、我利一點張りの帝國主義的獨占排他政策を强行してゐるのに根源を持つてゐるのである。しかもその獨占排他政策の基底となり母體となつてゐる各植民地は往年英國が侵略して得たものなのである。他の國に侵略者呼ばはりをする前に、自國往年の歷史を省みるべきである。しかしながら九國會議の無收穫と支那軍の決定的大敗は、英國の極東政策にも轉換を餘儀なくしはせぬであらうか。われらは嚴しく今後を監視する必要を感ずる。

新京特別市公署　新諮議員の横顏（上）

三十萬市民の期待と注目の的となつた新京特別市公署の新諮議員はいよ〳〵正式決定した、晴れの初代諮議員の光榮を擔つて選ばれた日本人側八名滿人側七名はともに何れも人格識見ともに備つた一流の人物で今後の活動には市民の異常な期待がかけられてゐる今新諮議員の前途を祝福しながらその横顏を描いて見よう

△藤山一雄氏

氏は山口縣の產當年四十九歲、大正五年東京帝國大學法科大學經濟學科卒業後湯淺貿易株式會社總務部次長下關梅光女學校專門部敎授を經て大正十五年十月大連福昌華工株式會社庶務主任に就任、昭和四年五月產業組合及び勞働事情調査のため歐米に出張し氏の非凡なる才幹は社內においても前途を囑望されてゐたが、同七年三月滿洲國政府より招かれて實業部總務司長の椅子につき同年九月總務處長となり康德二年七月初代恩賞局長皆川現敎育司長の後を襲つて恩賞局長となり在任中多事なる恩賞事業を本格的軌道に乘せ、今年七月の滿洲國政府の機構改革に際して勇退し一時內地歸還が傳へられてゐたが、詩人としての氏は滿洲の風物に捨て難い魅力と愛着を感じ自分で設計した住宅に悠々自適の生活を樂しみながら一面民生部囑託として滿洲の藝術と文化方面の中心人物としてこれが發展のため力を注いでゐることは人のよく知る處である 氏はさきに協和會々歌を詩作し非常の好評を博してゐるが、今度の諮議員の就任は過去の經歷、氏の趣味の兩方面より見たるとき最も期待をかけられる人物である

△山口十助氏

滿鐵參事、新京支社長山口十助氏は三重縣の出身、明治四十四年拓殖大學の前身東洋協會專門學校を卒業、學生時代より大陸に志を抱き卒業後直ちに滿鐵に入社奉天驛を振出しに同驛助役當日驛長、長春鐵道事務所庶務長兼營業長、奉天鐵道事務所運輸課長、本社鐵道部營業課長、鐵道部次長等を歷任して昨年九月職制改革により新京事務局長となり本年六月支社昇格と同時に支社長に就任今日に及んでゐる、その間鐵道運輸研究のため歐米に留學をしたこともあり生粹の滿鐵マンである 氏は當年まだ五十三歲の働き盛りで、その溫厚なる人柄のなかに腹の强さを有し、家肌の押しの据つた政治家、今回の附屬地行政權移讓に際して卓拔した手腕を發揮した政治的手腕から見ても新諮議員中になくてはならぬ人物の一人である

△石橋米一氏

電業常務取締役石橋米一氏は福岡縣出身、當年四十八歲、大正二年長崎高商卒業後滿鐵に入り撫順炭鑛用度課勤務、同鑛老虎臺採炭事務主任を歷任、一時滿鐵を辭し大阪湯淺蓄電池會社に勤務したが、再び滿鐵に復歸し大正十三年歐米各國に留學、歸朝後用度事務所倉庫長となり鞍山製鋼所事務課長撫順炭鑛經理課長を經て昭和七年滿鐵傍系南滿電氣會社常務取締役に就任傍ら滿電傍系たる各種電氣會社取締役を兼ね同九年十一月電業設立後舊資本系を代表現職に就き、電業創業の大事業を完成し今日の大を仕上げた人物である 氏は滿鐵時代には野球の選手でありその他テニス、ゴルフのスポーツ萬能選手であるばかりでなく圍碁、將棋をはじめ長唄等に長じ多趣味多藝であり、その人格の明朗さは諮議員として重任遂行に遺憾なきものと衆望の一致するところである

△淸水豐太郎氏

中央銀行庶務課長淸水豐太郎氏は廣島縣出身、當年四十五歲の働き盛りで大正六年早稻田大學商科卒業、大同二年十一月滿鐵より中央銀行に入り現職に就く、多士濟々たる中銀人物中でも出色の人物で、中銀創業の困難を嘗めて中銀をして今日の大をなさしめるに功績大なるものがあり、半白の頭髮はその人格をいよ〳〵重厚ならしめてゐるが、一面氏は音樂に對する造詣深く氏の溫情は音樂から培養されたともいふべく滿鐵音樂隊の生みの親として今でも若き滿鐵マンに慕はれてゐる、なほ氏は前特別市自治委員、前特別市日本人民會長として新京特別市政を軌道に乘せるため絕大の功績を顯はし、いままた新諮議員に加へられたことは當然といふべきで市政運營上同氏に期待するところまた大なるものがある

拓務省の來年度　青少年移民三萬人　經費六、七百萬圓計上

拓務省では滿洲移民計畫として差し當つて來年度に於て十六歲より十九歲の青少年移民を約三萬人を送ることについて過日の閣議にて承認を得たので、これに要する經費は十三年度追加豫算として提出する方針で陸軍、大藏等の關係當局と案の作成を急いでゐる 而して今回大量（四ヶ年十五萬人の豫定）青少年移民を派遣することについて當局は人員の募集に關しては全國青年團の動員を求めるので樂觀的意向をもつて居りこれ等青少年は訓練所に收容し移民としての訓練を與へると共に滿洲國建國の方針に基く訓練を行つて將來滿洲國銃後の活躍の重大任務に就かせようとするものである、しかも二十一歲に達した時は集團移民に組入れ、早急に五ヶ年十萬戶計畫の完成を助けるものであり、國防上の見地から非常な期待がかけられる譯である、青少年移民には一人當り一年に二百十圓第二年に七十圓の補助金を交付し、集團移民に組入れる際は更に集團移民に對する補助金より右金額を控除した額を交付することゝなつてゐるが、訓練所の施設等は滿洲國側において引受けるので初年度經費は二萬人として六七百萬圓で可能なりとしてゐる

上海―長崎間　折返運航

【長崎國通】今次事變を契機として長崎―上海間連絡航路は、客船、貨物船ともに上海再建を目指しますく輻輳し現在の配船では收拾つきかねる狀態となり、郵船長崎支店では本店と折衝した結果いよ〳〵本月廿一日から明年一月一杯長崎丸、上海丸兩船の長崎、上海間折返し運航を行ふことに決定した

法人國籍轉換に伴ふ　諸稅手數料免除　特別規定一月一日公布

去る十一月五日調印を了した治外法權撤廢ならびに滿鐵附屬地行政權移讓に關する日滿兩國間の條約第四條第一項の規定に基き日本國法人の滿洲國法人への轉換が認められてゐるが、滿洲國政府では明年一月一日附をもつて日本國法人の滿洲國法人への轉換に關する件を公布し法人國籍の轉換に伴ふ一切の登記稅登錄稅その他の手數料の徵收を免除することゝなつた、すなはち日滿間の條約第四條第一項によれば日本國の法令によつて成立した會社その他の法人が同條約施行當時滿洲國の領域內に本店または主たる事務所を有してゐる場合には條約實施日たる十二月一日を迎へるとともに滿洲國の法令によつて成立せる同種の會社又は法人と認められ、同種のものがない場合には最もこれと類似する法人と認むることゝし、日本國法人の國籍の轉換を認むることゝしてゐる しかるに右の如き一般的な場合の外

一、滿洲國領域內において事業を營むことを主たる目的とする日本國營利法人たる會社で滿洲國領域內に本店を有しないもの

二、右の營利法人たる會社にして滿洲國領域內に一個又は二個以上の支店のみを有するもの

三、日本國法人たる投資會社とその事業會社たる滿洲國法人とが共に滿洲國領域內に本店を有する場合等につき規定することゝなつてゐる

すなはち（一）の場合は去る十月廿一日附公布された外國法人法によれば外國法人と認められないことゝなるのであるが、斯かる場合滿洲國法人として認められるがためには日本國法人としての本店を滿洲國領域內に移轉する手續きを取らせた上これを滿洲國法人として認むることゝする つぎに（二）の場合においては先づ當該支店が一ヶ所なる場合には支店を滿洲國領域內に本店を有する獨立の日本法人たる會社に改組設立の手續きをなさしめ、しかる後滿洲國法人としてこれを認める、しかして前記の二つの場合における手續は康德四年十一月末日までに日本國法人の登記官署たる領事館に對しなかつたものは善意すなはち右の旨を知らなかつたもの又はやむを得ざる事由があつた場合に限り來る康德五年一月卅一日までに國籍轉換の手續をなせばこれを認むることゝしてゐる さらに第三の場合においてその日本國法人たる投資會社が條約第四條第一項の規定によつて滿洲國法人として認められた場合にはなるべくその投資會社及び事業會社を合併して一個の會社となすやう指導を行ふ

右の各場合を通じ滿洲國法人として認めらるゝに至つた會社は

イ、その資本金は日本國貨幣によることを認められる

ロ、國籍轉換に原因する一切の登記稅、登錄稅、契稅、印花稅及び不動產取得捐の課稅ならびに名義書換へ等の行政上の手數料を免除する 但し前記第三の場合には康德五年一月卅一日までに合併をなしたものに限りこの特典を認むる

なほ條約實施後日本國法人たる會社又はその在滿支店の業務を承繼せしむるため新たに滿洲國法人たる會社を設立した場合すなはち事實上の改組に相當する場合についても康德五年一月三十一日までに設立を見たるものに限り課稅及び行政上の手數料の徵收を免除することゝし、その他日本國法人以外の外國法人たる會社についても前の各場合に準じてこれを處理する筈である

パール・バックの日支抗爭觀（二）

奉天圖書館長　衛藤利夫

それから圖書館に歸つて、職業柄、アメリカの雜誌なんかを覗いてるうちに、女史があちらに歸つて、アメリカのジャナリズムで相當活躍してることを知つた。就中、一寸面白いと思つたのは、『支那對日本』と題する小論文に見えた女史の日支抗爭觀だ。女史は、支那を上下、表裏を通じて洵によく知つて居る。支那人以上に知り拔いて居る。そして日本を餘り知らぬ。ソンナ立場から、この『大地』の作者が見た時局觀は、その視角の食ひ違ひやうが甚だ愉快だ。」

△

女史は、日本と支那との鬪爭を、ウハバミと象との鬪爭に譬へて居る。日本がウハバミで、支那が象だ。ウハバミが象を捲いて呑まうとするが左樣行くかドウか？象はまたその、途方もない大きな圖迂體を武器として呑むなら、呑んで見ろと云ふ格好だが、象のネバリがウハバミをへとへとにして仕舞ふかドウか？と云ふのである。

△

女史に云はせると、支那は日本に抗するツモリなら、その準備に、モット早く身を入れるべきであつた。今日となつてはモウ遲い。支那が日本にヤッツケられることは、必然の勢ひだ。今となつては防ぎ止められぬ。[illegible]大的な抗日支那人のうちでは、よくこんなことを云ふものが居る。支那は土地が廣くて、民衆が多い。むかしから、蒙古人でも滿洲人でも、支那を征服して呑み込んだツモリで居たが、何ぞ知らん、結果としては、支那に呑まれてしまつたではないか。日本人を總動員して支那全土にブチ撒いて見ろ、數年ならずして、その日本人も、何處へ行つたか判らぬ程『支那』に吸收されて仕舞ふから、世話はないよと。

△

女史は曰ふ、そんな見方はテンデ成つちや居ない。蒙古も蠻族、滿洲族も蠻族、ソンナ民族が高度の文化を持つ漢人を征服したツモリで、却つて吸收されてしまつた歷史上の先例は、今度の場合には當嵌らぬ。組織と機械と、これを動かす日本人の優秀なる頭腦は、若し欲すれば、支那五億の民を、殺して仕舞ふことすら何でもないことだ。日本がそれをやらないのは、日本人が聰明だからである。」

△

日本が支那を統治することになれば、支那の民衆生活は今迄よりズッと善くなる。山の奧まで鐵道も引けるだらう道路もよくなるだらう、洪水や饑饉を防ぐ方法も講ぜらるゝであらう、肺結核やトラホームを民衆生活から驅除する手段も執られるであらう。路傍で立小便をしたり、下水で物を洗ひ、魚や獸のアラや臟腑を街頭に投り出す支那の婦人たちは、大に官僚的な日本の巡査から嚴罰を以て臨まれるであらうが、その代り庶民の生活はズッとよくなる。文盲の民衆にはシネマで敎育するであらうし、そして非常に巧妙な仕方で、產兒制限を支那人に敎へてこれを實行にまで導くであらう。すべて、支那人統治者が民衆に對して國土に對して、當然成すべくして成さゞりしことを、日本人がやるであらうと。

△

そんな風で、『物』の世界でも支那が負け、『心』の世界でも矢張り負ける。が、最後に、『魂』の世界に於ては支那人は征服しようがない。何となれば、彼等は、負けたつて、他人の統治を受けたつて、一向平氣、少しもそれによつて、魂が傷けらるゝことはないから。そこへなると、日本が、この成敗には大きなリスクを賭けて居るに反し、負けても、負けたと思はぬ支那人の魂の消極性には、そこに目すべき何等のリスクがないから。左樣云ふ意味に於て支那は不死身だが、日本は生身だ、と云ふことが、結局バック女史の議論のオチである

△

この論文を見て、自分は日本人の一員として、何と云つていゝかに困つた。第一、日本の異民族統治能力が、非常に買冠られて居る。かう云はれて得意になつて、顚でもなで居ては、日本人があまりに甘いのである。それから、愉快な見方の食ひ違ひと最初に云つたことは、これでは女史の言は、日本が支那の民衆を對手に鬪ふものゝやうに聽えることだ。事變以來、日本が鬪つて居るのは、支那の或る一部であつて、少くともその民衆ではない。

△

支那の國土を日本人が統治するだの、民衆の魂をドウのと云ふことは、日本の行き方が段々ハッキリするにつれて途方もない誤解であつたと云ふことが判ることゝ思ふが、それは兎も角、バック女史が支那をよく知つて居ると云ふことは、ヤハリこの論文の不動の基礎を成して居ると思ふ日本に關する限りのことはドウ致しまして、と引下がるより外に、挨拶の仕樣がない。

對日空氣漸次好轉し　上海の復興顯著　邦人の歸還相次ぐ

【東京國通】三日海軍省に入つた情報による上海方面一般情況は左の如くである

一、虹口、楊樹浦方面復興の意氣昂く內地から歸還した邦人の數は既に二千三百四十一名に達し、老靶子路以北の復歸者三百四十三名、夜間はなほ通行管制が行はれてゐるが、家屋修理、電燈、電話の復舊工事等着々と進められ、新鮮な野菜類は浦頭より供給され、蘇州河以南より買物に來る外人が日每に增加してゐる、一般飲食店は去月十五日以來營業時間を午後九時迄延長し、ニュース映畫館も賑ひを呈して居り、なほ外人の租界內居住は十二月十五日から許可される筈である

二、蘇州河以南租界內表面はほゞ平常と異らないが避難民は巷にあふれ、殊に佛租界方面に於て甚だしく、米騷動もしば〳〵行はれてゐたが、廿七日以來は西貢米が續々搬入され事態は緩和された、租界內の外人經營工場は漸次復舊しつゝあつて、十一月末調査の工人數は左の如くである

東部一、二二〇、西部二四、八八〇、北部九三〇、佛租界一四〇、浦東六〇〇

計二七、七七〇

三、排日諸團體の解散は十月中十三、十一月中に三十七、合計五〇、支那諸新聞雜誌は十月二十五日に國難青年雜誌の停刊したのを始めとし十一月中に停刊十、移轉七を數へ（新聞檢閱上中央通信社は廿四日閉鎖）目下中報、新聞報、大公報のみが發行を續けてゐるが、その記事は極めて穩健となつた、支那側のラヂオ放送も自然消滅し、對日空氣は漸次好轉して居り邦人の通行に對し特に危險を感ずる樣なことはなくなつた

ソ聯の總選擧に　民衆は冷淡　恐怖政治に對する不滿反映

ソ聯の總選擧は一週間後に迫つてゐるが、各選擧區とも各一名の官選立候補者をみたに過ぎず、一般民衆は極めて冷淡な態度を示してゐる、政府當局は右は選擧委員の怠慢によるものとして委員を難詰する一方、國民の選擧熱煽動に大童となつてゐるが、當局が大聲で宣傳すればするほど一般の空氣は一層冷淡化するといふ皮肉な現象を呈してゐる 右は選擧宣傳の進行と共に肅正工作ますく峻烈を極め、反スターリン派とみられる人物は日本やドイツと通謀せりとの罪名で片端から銃殺の刑に處せられ、十二月中だけでも既に四十餘名に上り國內不安は日一日と深刻化するとゝもにスターリン恐怖政治に對する不滿が今回の選擧にも如實に反映するものとみられる なほ新聞紙上に連日人氣投票のやうな形で發表されてゐる官選候補者に對する推薦投票數は左の如くである（十一月卅日現在）

候補者	票數
スターリン	二、三七五
モロトフ	一、〇八七
ウオロシロフ	一、〇〇五
エジョフ	九〇四
カリニン	八八六
カガノヴイッチ	八一五

無水アルコールの混用　同率に實施

【京城支局】燃料國策に基く無水アルコールの混用問題は大藏、商工兩省を中心に關係方面で協議中の內外地を一貫して同率混用を實施することに決定した旨この程總督府に入電があつたが朝鮮關係の混用率は左の通り

一、先づ初年度は五パーセントとし（累進に二十パーセント迄

一、混用の實施は明十三年度十月に施行

一、初年度に要するアルコールの供給は東拓系新設會社の無水アルコールに南鮮地方の澱粉原料アルコールで折半供給

一、南鮮地方の澱粉原料工場は五ヶ年間に全鮮十工場を新設

三十萬圓の工場初年度補助で原料芋九萬貫れり製造せしむる計畫である

牡丹江省保甲長視察團　國務院訪問

牡丹江省保甲長五十數名は國都新京を見學のため三日午後三時着列車で來京、四日午前十時國務院に張總理および谷次長、堀內弘報處長を訪問、施政各般の問題に就き懇談を遂げたのち十一時弘報處映寫室にて各種の記錄、ニュース映畫を參觀、午後は治安部に薄田次長、市公署に徐市長を訪問、次いで忠靈塔、新京神社、南嶺その他市中見學をなした

上間前司法科長

首都警察前司法科長上間辰雄警正は奉天警察廳刑事科長に榮轉、來る九日午前十時發にて赴任出發する

寄附

岡野誠治氏は轉勤に際して子女在學記念として金二十圓を白菊小學校保護者會に寄附した

和仁元大審院長

【東京國通】元大審院長和仁貞吉氏はかねて尿毒病を病み澁谷の自邸で療養中、三日午後七時半容態あらたまり逝去した、享年六十八

新京取引市況（四日後場）

現物	寄	引	出來高
大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―
●大豆　十二月限	五、三二	五、四九	三二車
一月限	五、五五	五、五五	四車
◎高粱　十二月限	―	―	―
一月限	―	―	―

手形交換高（四日）　二六三枚　七二九、五三一、四〇

滿鐵附屬地卅年史

西廣場小學校 沿革史 (三)

(附)滿洲事變とその影響

學校園 學校創立當初は野地の中に建築せられたる關係上校地には雜草芒々大人の背丈に余り生ひ茂り、其の上校庭の眞中を斜に軍用鐵路が敷設せられ、之が校庭かと思はしめる有樣であつた、この荒野の樣な校庭に訓導等は開墾の汗を絞ること幾許、兒童と共に授業の餘暇を利用し、疲れた手に鍬を持ち鎌を揮り、シヤベルを揮つて切り開く雜草地は年と共に校庭らしくなり鍬の先に火花を散らした石塊も次第に除去せられて學校園として初めて兒童の手に可愛らしい草花の植え並べられたのは昭和五年であつた以來校地の整理と共に學校園の形は整へられ昭和五年面積二〇〇〇平方米の敎材園(現在テニスコート二面施設の場所)及び西廣場に面した面積一五〇〇平方米の植物園を作り上げた、昭和九年現在のテニスコートが作られるに及んで敎材園は校舍南側の空地に移り其處に鷄舍、兎舍及び魚類を放ち水草を生育せしむる池を掘り動物飼育と共に此處に敎材園を經營す、然るに兒童の增加は學級の增加となり、狹隘を感ずるに至り、昭和十一年校舍前の獨身寮の空地の一部を敎材園として利用するの許可を願ひこゝに其の擴張をすることに依つて現在に至る

(イ) 植物園 校舍東側西廣場に面した土地面積一五〇〇平方米

全滿洲に生育する樹木灌木を此處に移殖するの計畫の下に經營現在移殖したる種類は三〇種に上る

外にこの場所を利用して先に校舍内側空地にあつた鷄舍兎舍を廢して昭和十一年當地佐藤精一氏寄贈の金網張の小鳥小舍を建てゝ、ハト、文鳥、目白、ヒヨ等の小鳥類及び家鴨を飼育す昭和六年南嶺の戰爭に於ける戰利品の大砲一門及び昭和十一年當地加藤牧場主加藤治作氏寄贈の二宮尊德先生の銅像を建立してゐる

(ロ) 敎材園 校地內面積二八〇平方米

獨身寮借地面積 二四〇平方米

主として敎授に必要なる敎材植物を栽培す

語學敎授 當校に於ては創立當初より第四學年以上の兒童に華語を課し現在に至る

時間配當 週(第四學年一時間、第五、六學年二時間)

補充讀物 補充讀物としては圖書室利用の讀物の外は昭和五年鄕土讀本の編纂をなした位のものである

敎授上の工夫 創立當初は僅か五人の氣分の合つた意氣潑剌の訓導家庭的な雰圍氣の中に日々の敎育精進が續けられた其の間低學年の敎育は合科で行かねばならぬとか、自發學習でとか實に眞劍な氣持で論じ合ひ語り合ひ時には手を貸出にして小黑板の製作などやつたこともある、鄕土に根を下せ、鄕土を重視せよとして其の實施案を作成したのが昭和四年の暮のことである、引いて鄕土讀本の編纂となり鄕土室の經營となり鄕土の研究の發表會を施設して盛んに敎師兒童共に之が研究と發表の機會を作つた、之に附隨して起る兒童の作業は勞作敎育思潮の研究となり各敎室に大工道具から算術測定用具まで用意した、昭和六年滿鐵初等學校敎育研究會の算術敎授研究學校として指命を受けるに及んで日頃の研究を土台に西廣場算術の編纂をなして鄕土に出發し鄕土に解決を與へる爲の算術として現象解決の算術として算術敎授の革新の研究を諸般に其の批正を乞ふた算術のみならず敎科全般に涉りこの思想を基調として各科の敎授細目を編纂して現在に至る

其の他 (イ) 昭和八年敎育映畫の敎授利用に効果あるを着眼し着々其の實績を擧げつゝあり、講堂映畫より敎室映畫へ、現在施設として暗室設備を次の三敎室に設く

理科室、理科授業に映畫を利用する時

普通敎室一、現在は地理の授業に映畫を利用する時

圖書敎室に兼設、此の敎室は普通敎室より面積廣く、(一〇米×一〇米)莫座を敷けば一ケ學年は收容出來る、主として學年單位として情操方面のフイルム映寫時に利用す

在庫フイルム卷數　理科敎材フイルム 三四卷

地理敎材フイルム 一七卷

映寫機　アロー映寫機 二機

撮影機　シーメンス撮影機 一機

フイルム戸棚　二箇

伴奏用レコード

大阪毎日新聞社編輯 一、二輯

(ロ) 唱歌敎授に於ける鑑賞レコードの編輯

昭和十年創立十周年記念に當り其の一事業として鑑賞レコードの編輯をなし父兄會の援助を得てレコードを購入し唱歌敎授の鑑賞的部面の開拓を計り該敎授の効果を擧げつゝあり(寫眞は現在の西廣場小學校)

東邊道開發に積極的電力供給

電業諸方策を樹立

東洋のザールとして無盡藏の天然資源を包藏する東邊道の資源開發は滿洲重工業會社の設立によつて一層拍車をかけられることゝなつたが、電業公司でも右開發計畫と不即不離の立場において開發に要する電力供給に萬遺憾なき方策を樹立してをり、差當つて同地帶に要する電力は製鐵六、七萬キロ、輕金屬工業八萬キロ、石炭其他に五萬キロ、合計二十萬キロに近い電力を必要とされ、これに應ずるため渾江河の水力を利用工費約五百萬圓を投じて十五、六萬キロ程度の發電所を桓仁に設置する模樣である、同公司ではさらにこれと別個に東邊道資源開發に積極的援助をなすべく取敢へず通化—臨江間八千キロにわたる一帶の豐庫開發に資するため兩地間を結ぶ「產業開發線」とも云ふべき一萬キロ程度の電力幹線を完成必要に應じ隨所に支線を設け又試掘調査等に短期間不定量の電力を必要とするので小規模の移動式發電機工作に積極的助力を與へることゝなつた

躍進奉天の土建界

結氷期を迎へた本年度奉天土建界も漸く終末を告げるに至つたが本年一月より十一月までに於ける土建工事額は土木工事五百十四件、二千二百五十萬八百卅四圓建築工事千八件、二千四百九十四萬二百十三圓、合計千五百廿二件、四千七百四十四萬千五十六圓と云ふ未曾有の巨額に上り、これを昨年同期と比較するに土木工事においては十六件、千七百八十三萬九千二百九十七圓を建築工事では百八十六件四百七十六萬二千九百五十一圓總計においては實に件數二百二件、金額二千二百七十萬二千二百五十七圓と倍增躍進的飛躍振りを示してゐるが本年當初鐵鋼材、木材、石材の三割方奔騰、その他土建材料徵騰の趨勢を顯現せるにも拘らずかく活況を呈現したのは一般施工の活況、市公署廳舍等膨脹奉天の人口激增による住宅の大量建築、諸會社の奉天進出し多數工場の新建設等によるもので躍進譜を奏でる經濟都市大奉天の堅實味を如實に物語つてゐる、なほ滿洲土建協會奉天分會調査に基く本年一月—十一月奉天の土建工事請負額統計左の如し

(内譯)(件數)(土木)

特殊工事 一

滿鐵 二七六 九九八、七八六

滿洲國 五〇 四二八、八一〇

一般施工 三六 三〇五、七四五

合計 三六二 一、七三三、三四一

奉天入札他地方施行 一五二 二〇、七六七、四九三

總計 五一四 二二、五〇〇、八三四

(内譯)(件數)(建築)

特殊工事 六 二五三、二〇〇

滿鐵 二五二 二、二五二、二五六

滿洲國 一〇〇 二、四九〇、八五七

一般施工 五七三 一五、三七九、四八四

合計 九三一

二〇、三七五、七九七

奉天入札他地方施工 七七

總計 四、五六四、四二五 一、〇〇八

(内譯)(總件數)(合計)

特殊工事 六 二五三、二〇〇

滿鐵 五二八 三、二五一、〇四二

滿洲國 一五〇 二、九一九、六六七

一般施工 六〇九 一五、六八五、二二九

合計 一、二九三 二二、一〇九、一三八

奉天入札他地方施工 二二九 二五、三三一、九一八

總計 一、五二二 四七、四四一、〇五六

城內と舊附屬地の水道料金統一

明年四月に實施か

【奉天】滿鐵附屬地行政權の滿洲國移讓によつて一日約一萬五千噸の水を使用する奉天舊附屬地內の水道も水源地を除く外は全部奉天市へ移讓され、市公署工務處水道科の手によつて從來の城內側水道と共に一元的に經營されることになつた舊附屬地側と城內側とは夫々獨立の水道料金制をとつてゐるが、市當局では附屬地接受後の先決的重要課題として目下工務處を中心に水道料金調整につき種々具體案を作成中で、遲くも明年四月には實施に着手するものと見られてゐる、即ち現行奉天市給水規則による水道料金は工業用水、飮用水共に一立方米につき十五錢となつてゐるが、舊附屬地水道給水暫行規則では工業用水は一立方米につき十五錢飮用水は十錢となつてをり、一都市に二つの給水規則が行はれるのは不合理であるのみならず、舊附屬地側規則によれば飮用水の料金に比し工業用水は比較的高率で、工業都市奉天の產業助政策上からみるも水道料金調整は當面の重要問題として問題視されるに至つたものであるが、これが解決策は市當局の財政をはじめ一日の上水使用量僅か三千五百噸といふ水道普及程度の低い城內側と舊附屬地側との料金負擔力の振合その他の關係から相當デリケートな問題であり市當局としても對策檢討に愼重を期して臨んでゐるが結局市當局で從來とり來つた工業用水並びに飮料水の同率主義を貫徹し附屬地側工業用水並に城內側水道料金を一律に低下せしめると共に從來比較的低廉であつた附屬地側飮用水料金の引上げを行ふ事となるものと見られてゐる

克山の奇病に新說擡頭

特有の植物食用の爲か

克山の奇病調査研究は滿洲醫大その他の手によつて進められ滿洲醫大敎授原、久保田、三浦博士等が交互に克山縣附近の一寒村張雲圍に出張病源研究に涙ぐましい努力を續けてをり、本月廿日頃を以て本年の研究は一應打切ることになつてゐるが、現在の研究對象になつてゐる瓦斯中毒說が確認されんとする折柄、奇病々源に對する新說が擡頭學界に興味ある新問題を投げ與へてゐる、即ち新說は同地方に特有の植物があつて、木芽とか葉を食することによつて心臟を害されるものと診定するもので未だ明確なる斷定は下されてゐないが相當根據あるものとして明春より醫大挺身隊の手によつて更にこの方面に對する研究の步を進めることゝなりその結果は頗る注目されてゐる

十一月中の討匪狀況

國軍の討匪は邊境各地に活潑なる戰果を示し十一月中には金日成の射斃等記錄的掃蕩の實を擧げたが、十一月中における討匪狀況の主なるもの次の如し

一、騎兵〇〇部隊は四日午後三時撫松縣大營南方十キロの一、〇二八高地附近において紅軍匪約百と交戰四十分にして之を北方に潰走せしめ直ちに追擊す、敵遺棄屍體八、傷匪多數の見込み鹵獲品小銃一、彈帶一一、背負袋七、被服五、わが方負傷三名

一、〇〇討伐部隊は六日午前十時頃撫松縣臺營東方約二十キロ九八六高地を掃蕩中該地の東方五百米の地點に匪の山寨を發見、監視八名の匪賊と交戰卅分にしてこれを四散せしむ、敵遺棄屍體三、鹵獲品小銃一、銃劍一

一、騎兵〇〇部隊は五日午後二時湯原小花園西北方山地に於て抗日第三軍匪約百名と遭遇し交戰二時間にして西方に擊退す敵遺棄死體七負傷十餘、鹵獲小銃一、我方死馬一

一、勃利縣治安隊〇〇部隊は六日午前九時勃利縣城東北方九太平溝附近に於て匪首高副官約三十名と交戰一時間にして匪を南方山中に擊退せしめたり遺棄死體六、負傷八、鹵獲品小銃三、軍服二、我方負傷二

一、〇〇部隊は六日大別拉坑て張鵬、掃北、雷平等の合流匪約百名と交戰一時間半にして潰走せしむ、敵遺棄死體六、死馬一四、鹵獲品小銃四、拳銃二、馬四九、わが方負傷一

一、騎兵〇〇部隊は七日午前十時より悅來鎭東南方十キロ汶澄崗に蟠居せる四海、四合、文武等の騎馬匪約九十を攻擊し東方山地に潰走せしむ、敵遺棄屍體三(內連長排長各一)負傷多數、鹵獲小銃二、彈藥四五、馬七その他、わが方戰死一、負傷三

一、步兵〇〇部隊は八日午後一時勃利縣西北方四十支里下李樹溝子附近において匪首長山匪約五十と交戰一時間にして北方大八浪方面に擊退す、敵遺棄死體三、負傷五、鹵獲品小銃一、同彈藥五六、わが方損害なし

一、騎兵〇〇部隊は九日午後四時湯原縣廉鎭北方三滿里の地點において約百の匪と交戰數時間にしてこれを西南に擊退す、敵遺棄死體二、負傷多數、わが方負傷馬一

一、〇〇討伐部隊は九日午後二時富錦縣境七星河を渡河し寶淸縣七星河部落に蟠居中の抗日第三軍金策以下七十名を攻擊しこれを南方に擊退す

敵遺棄死體六、鹵獲小銃三わが死馬一

一、〇〇討伐部隊は六日午前十時三十分富錦西方約十五キロ長發屯南方地區に於て匪首天張殿英匪約百名と交戰匪は東方硯臺山に逃走敵遺棄死體二、重傷二、死馬三、鹵獲馬七、我方損傷無し

一、騎兵〇〇部隊は八日午前四時佐蘭縣山咀東方卅支里の地點において約百名の匪と遭遇交戰卅分にして東方に擊退す、敵遺棄屍體二、負傷多數、鹵獲馬三、わが方負傷一

一、〇〇討伐隊は四日通河東北方約四十キロ〇〇においより行軍中、午前十一時七里星北方約十滿里の地點に於て鳳山匪約三十と交戰四十分にして西北方に敗走せしむ敵遺棄死體五、鹵獲品小銃一、彈藥三〇、我方負傷一

國防皇軍慰恤献金品 (本社取扱)

一金一萬二千三百四十四圓七十六錢五厘(關東軍司令部へ)

一慰問袋千三百三十個(同)

一金二千百八十三圓二十七錢(駐滿海軍部へ)

累計一万四千四百七十八圓三錢五厘

……十二月三日迄の分……

對滿獨逸輸入大豆

一月以降四十六萬噸

駐滿獨逸通商代表部發表＝十月中に獨逸が滿洲國より輸入せる大豆は五三、一八五噸、價格六、三八四、〇〇〇ライヒスマルクで、一月以降十ケ月間の輸入累計は四六六、一六九噸、價格五〇、六七二、〇〇〇ライヒスマルクである

家庭

適度の入浴によつて健康增進を計れ
高溫浴と冷水浴の異作用

昔　から江戸ッ子は手の入らぬ樣な熱い風呂に入るのを得意としてゐましたが、江戸ッ子の熱い湯に入るといふのは古來の風習にもよるであらうが、主なる點はやせ我慢にある。このやせ我慢も、生理的に云へば皮膚にある溫熱を感ずる神經末梢細胞の機能不全なるものが江戸ッ子だといふことになるだから熱い風呂に入ることなどは少しも自慢にならない。然し忍耐涵養の精神修練のためだと云ふなら、これは別問題である。

西　洋人は冷水に入るのを健康法としてゐる。冷水摩擦、冷水浴などその一例であるが、しかし寒中裸で暮す海女がすぐれてゐるとは云へない。これなども江戸ッ子の熱い風呂に好んで入ると同じやうにやせ我慢と見て差しつかへない。生理的に云へば前と同樣寒冷を感ずる皮膚末梢神經細胞の機能不全患者である。

草津溫泉時間湯の一番湯といふのは人間の入り得る最高溫浴であるが磯氏五十二度である。高溫浴は如何に人間に作用するかと云ふに、入浴した直後には熱いといふ刺戟によつて、皮膚表面の血管は緊張し、その結果血壓は著しく亢進して、脈搏數を增してくる。

然　し暫くして血管は弛緩し血壓は下降する。皮膚の毛根、その他はそのために開き、血脈の盛なると共に新陳代謝機能高まり體溫の昇騰が增し發汗後は適度の疲勞感を伴ふのである。この血壓の下降は出槽後も續くものであるから高血壓者の治療に利用されることがある。

これに反して冷浴の場合には、入浴と共に冷たいといふ刺戟により皮膚血管は緊張し血壓が高まることは高溫浴の場合と同樣である。即ち皮膚に對する刺戟として作用する點は高溫も、寒冷も同一である。

このことは一寸、不可思議に考へられる事象が相ひとしい例は世の中に澤山あつてこれもその一例である

然　し冷浴では體溫を次第に取り去られ緊張は永く續き非溫浴時の如き弛緩は直ちに現れない。然もに一度出槽すれば、緊張後の弛緩が來て皮膚毛細管は擴大し血流盛となり皮膚赤する。今まで體溫を失はぬやうに努力してきた緊張がなくなり、血流の盛なると共に皮膚に溫感を生ずるので爽快を覺える故に高溫浴と寒冷浴とでは兩者ともに長時間入浴が不可能だからその結果は相似てゐる點が多い。

要　するに、高溫浴よりも冷水浴よりも適用するものは適度の溫浴であつて、これは血壓を亢進せしめることなくしかも輕度の皮膚刺戟を與へ、血流を盛にし、組織の新陳代謝を高め、精神的に爽快味を與へるのだから、適度の入浴は健康法として申分のないものである。

季節料理
おでんと小蕪のあちやら

お寒い夜は何と申しましても暖かいお料理が喜ばれます。今日はいろ／＼の材料を使つて榮養の多いしかも經濟的な「おでん」を申上げませう。そしてそのお箸休めにふさはしい小蕪のあちやらも致しませう。

【材料】（おでん）一人前
八つ頭　五分の一ケ、八〇瓦
こんにやく　六分の一枚、六〇瓦
大根　一寸位の厚さ一切　八〇瓦
燒豆腐　四分一丁　八〇瓦
竹輪　一ケ　六五瓦
鰹節　少々　二瓦
鹽　小匙三杯位
醬油　小匙一杯半
昆布

調味料　昆布を敷いて煮出汁をとりその昆布の上に材料を入れて味を加へて煮ふくめます。

【材料】（小蕪のあちやら）一人前
小蕪　二ケ　五〇瓦
酢
砂糖
鹽
調味料
唐辛子　少々

小蕪を切つて鹽をふつて押して置き酢に甘酢を拵らへてかけます。」

本紙特約連載漫畫　ガラムシやおピー　倉金良行

テツノボウ ウルナンテ オヨシヨ
オマエガ オナカヲスカシテル／ミテハ イラレナイヨ
スマネエダナ
エヘヘ コレハケッコウナモノダ チヨイト オモサヲハイケン
古道具 高く買ひ□
ガーン
ウヘエ オモイッ
キュウ
エーイ コンナ・モノ カワンワイ サッサト モッテ カエラッシャイ

高くなる折柄　果物・野菜の貯藏
◇……この方法なら請合です

これからだん／＼に向つて野菜も果物もだん／＼減つて來るので、從つて値段もお高くなりますから、今から貯藏しておくことも必要でせう。

◇

でその貯藏法の簡單なものを申しあげますと、炭酸ガス貯藏法、乾燥貯藏法それにジャムにして貯藏するものとの三つに分ける事が出來ます。差し當り柿などは先づ炭酸ガス貯藏か適當でせう。その方法としては、石油カンを用意して、それに一杯柿をつめましたら、その上に納十匁位のドライアイスを乘せて密閉するのです。するとドライアイスが溶けるに從つて炭酸ガスが發生します。」

◇

此の炭酸ガスは重いものですから下の方から充滿し、そして密閉せる罐を開けて、マッチを燃つて消える位を適度とします。此の原理は、由來炭酸ガスは生物の生活狀態を止める作用を持つて居るからですが、此の貯藏法を用ひた場合注意しなければならぬことは密閉せる炭酸ガスの中から急に空氣中に出しますと、酸化して黑くなりますから、先づ密閉せる罐から取り出すと同時に、薄い食鹽水に一寸浸けることです。」

◇

この方法によつて、柿などは一ケ月は樂に貯藏出來ます。林檎、蜜柑等は短期間ならモミガラの中に貯藏するのが最も經濟的なやり方です。

次はホーレン草、小松菜、人參、ゴボー、レンコン、ネンジヨ等の野菜類ですが、これ等はいづれも適當の大きさに切つてザッと茹でた上、乾かしビンに入れて密閉して置きさへすれば、多期ならいつまでも貯藏出來ます。

煤煙防止問題の新な意義と使命
煤煙防止・燃料經濟週間

愈よ實行期に入つた新京煤煙防止委員會では既報の如く十二月二日より煤煙防止と燃料經濟週間を開催してゐるが、同週間內の展覽會は場所三中井五階、期間は四日より六日迄に變更され、實地指導は日滿商事相談部に依賴する事となつたから希望者は電二一三二一一に申込まれ度いと、尙煤煙防止委員會委員長徐市長は同週間の趣旨につき左の如く發表するところあつた

市民の協力を切望　徐委員長談

煤煙が保健衞生上は素より都市美觀上更に經濟上如何に大きな影響を及ぼし少からざる損害を招きつつあるかと云ふことは今更茲に贅言するまでもない事であります、翻つて我々が新京市に就て申しますと當市が所謂躍進滿洲國の首都として更に大新京建設を目ざして人口は年々急激なる膨脹を來し又都市の態樣著るしく整備し、最も近代的都市として輪奐の美を誇つて居るにも拘らず、此の煤煙問題に至つては殘念ながら甚だ芳しくない實情にあるのであります、例へば其の降下煤塵量から見まして之を滿洲に於ける他の主要都市と較べて最も高率を示して居る事は蔽ふべからざる事實であります、此の點我々の最も遺憾とする所であります、從ひまして當新京に於ては昨康德三年秋以來官民各方面よりの權威者、專門家を網羅致しまして新京煤煙防止委員會を結成し、煤煙が我々市民の生活上如何に大きな影響があるか、而して之を防止するには如何にすればよいかと云ふ事に就て市民各位に大きく呼びかけた次第であります□

各委員方の熱心と努力他方市民各位の理解と相俟つて或は各個別に或は集團的に或は家庭に或は工場に夫々種々の工夫が施され、更に又直接取締の衝に當られる關東局に於ては、本運動を一層效果あらしめる爲に「煤煙取締規則」なるものを發布せらるゝに至る等、各方面に豫想外の反響を呼び起し我々本運動に携つて居る者と致しまして洵に感激致し居る次第であります、然し乍ら扨本年も既に多期採煖期に入りまして林立する煙突から吐き出さるゝ煤煙狀況を觀ますと、勿論若干變化の跡は見られる樣でありますが遺憾乍ら尙未だしの感を深うせざるを得ない次第であります、素より本問題の如きは先進各都市の實績に徵しても明なる如く一朝一夕に又一年や二年の短期間に、著しき效果を擧げ得たこなとどは決して其の例を見ないのでありまして短きは五年、十年永きは二十年、三十年の久しき間に亙り撓まざる努力と凡ゆる苦辛の結果漸く所期の成績を擧げ得て居る樣な次第であります

從つて本來此の種の工作に對して僅かに一年や二年の短時日の實績を以て兎角の批判は差控へるべきものであるとさへ考へてゐる次第でありますが、時の變化は殊に特に市民各位の御留意を願ひ度い事が生じました、それは適々現下非常時局を反映して所謂煤煙防止問題も國防上更に新な意義と而かも非常に重大使命を帶びて來たことであります即ち一は都市防空上の問題であります、此の事に就ては許しくは申上げるまでもない事と存じますが兎に角「一燈洩れて全市危し」の言葉の如く、假令一本の煙突から立ち昇る煤煙さへも特に月明の夜など敵機の有力なる目標になるのであります、まして況んや濛々として都市の上空一面を蔽ふて居る煤煙に至つては思半に過ぎるものがあるのであります、今や國際情勢の頗るデリケートな氣運を漂して居る際我々は都市防空上の見地よりも本問題を新に見直すべきであると考へます

第二に國防資源的な見地からでありますが申し上げるまでもなく盟邦日本が膺懲の師を起して聯へ支那事變は何處まで進展致して參りますか全く豫想を許さないのでありますが兎に角相當長期に亙るであらうことは想像に難くなく或は又國際情勢の變化に伴ひ意外なる方面に展開するやも測られない程でありますが彼此思ひ廻らす時どうしても必要缺くべからざるものは云ふ迄もなく第一に物資就中國防上の資源であります、よく申します如く「今後の戰爭の勝敗を決する重要素は一に〃物〃にあり」とは這般の消息を傳へて餘りあると存じます、扨顧つて盟邦日本を見ますするに刻下石炭需要は軍需工業を始め各方面共非常なる增加を來し而も供給は稍ともすればそれに應じかねる實情にあり自然我滿洲國より生產する石炭の輸入に對する希望極めて切なるものがあるのであります、が、滿洲亦日本に較べては未だ其程緊迫し居らずとは云へ尙之が需給の現在は兎に角樂觀を許し難き形勢にあるのであります。即ち滿洲の石炭需要は一千萬瓲を遙に超え又新京のみでも年に五十萬瓲の石炭を消費して居ります、假に煤煙によつて損害二割其他取扱の非合理的なる爲の損失を一割と見積りましても夫々輕視出來ない額に達しませう從ひまして消費者側からすれば出來得る限り之が使用の合理化を圖り消費の節約に努め假令一瓲の石炭でも之を剩して盟邦日本の切なる希望に應ずる事は我義務と信じます、而かも滿洲國の中心たる國都市民に於て率先此種の實踐が叢て及ぼす影響亦少からざる所あるを信じ敢て市民各位の協力一致を切望する次第であります

叙上の如き見地と意味に於きまして本運動を一層效果あらしむるため本委員會は他の諸機關と提携し來る十二月二日より約一週間に亙り「煤煙防止と燃料經濟週間」を催す事になりました、幸日本內地に於ける其の道の權威者の參加援助も得ましたので本回の企ては市民各位の御理解と援助を得れば相當の效果を擧げ得るものと非常なる期待をかけて居る次第であります最後に何卒市民各位に於かれましては今回の催しに對し我本委員會の意圖を諒とせられ又率先之が實踐に努められ以て本運動の成果を一段と收め得る樣重ねて御協力を冀つて已まない次第であります

ラヂオ

けふの番組
〔M・T・C・Y　新京放送局　五日（日曜日）〕

○國民精神總動員强調週間—第三日—

朝
◇六、三〇◇七、五〇 ラヂオ體操、入港のお知らせ（大連）
◇八、一〇 ニュース、氣象通報
八、三〇 朝の音樂（大連）
九、三〇 子供の時間（大阪）ラヂオ日本見物（十二回）
一〇、〇〇 大阪 大阪教育放送研究會
　新願祭實況（京都）皇威宣揚武運長久
　滋賀縣栗太郡瀨田町官幣大社建部神社より中繼
一〇、四〇 講演（大阪）勞働者の保健に就いて　醫學博士 正井保良
一一、一〇 經濟市況（東京）
一一、二〇 講演（東京）農村生產力の擁護に就て　産業組合中央會常務理事 千石興太郎
一一、五九 時報（東京）

晝
◇〇、三〇 ニュース（東京、新京）
◇一、〇〇 講演（大連）―全日滿放送―　滿鐵附屬地行政權移讓と滿鐵　滿鐵地方部長 神守源一郎
一、二〇 管絃樂（東京）
一、五〇 日本放送交響樂團（東京）
　狂言 鳴子　野村又三郎　小早川清士 外
二、二〇 浪花節（東京）噫銷魂通州城　相模太郎

夜
四、〇〇 ニュース（東京）ニュース、氣象通報（新京）
六、〇〇 子供の時間（東京）少年少女獨唱大會　福田信子 外
六、三〇 レコード鑑賞（東京）日の丸管絃樂團 伴奏
七、〇〇 ニュース、ニュース、告知事項（新京）
七、三〇 番組豫告 海軍々歌（東京）
七、四五 日曜特輯 ニュース演藝（大阪）
八、一五 義太夫（東京）一の谷嫩軍記二段目 流しの枝の段　淨瑠璃 竹本南部太夫　三味線 野澤勝平
八、五〇 名作物語（上）（東京）浮世床 式亭三馬原作　德川夢聲
九、二九 時報、ニュース、ニュース解說（東京）ニュース、氣象通報、告知事項、番組豫告（新京）
一〇、二〇 ニュース再放送　アナウンサー 野村上泰

ラヂオ輕文學 第一夜
三馬、一九、鯉丈の名作を物語るは夢聲大人
後八・五〇（東京）

德川夢聲氏……

わが大日本の文學には、古來、莊重嚴肅の一面があると共に、明るく朗らかな一面を持つてゐる。岩戸神樂のあの愉しさ、大らかな笑ひこそ、この明るく朗らかな一面を象徵したものといへよう。このユーモラスな流は、德川期に入つていよ／＼文化の爛熟と相俟つて幾多の名作を生んだが中にも三馬、一九、鯉丈の如きは、西歐の輕快文學の巨匠とくらべても遜色のない程すぐれた作品を殘してゐる。

この度、AKでは五日から三馬、一九、鯉丈の作品のうち、最も優れたものを一篇づつ選んで、適宜拔萃し名作物語として放送することになり、當代隨一の話術家德川夢聲氏に依賴して物語つて貰ふことになつた。第一夜は、三馬の「浮世床」、第二夜は、一九の「諺語掘之內詣」第三夜は鯉丈の「八笑人」である。いづれも、德川文學中でも輕妙洒脫な傑作ばかりで、結構の精緻と、描寫の尖銳と觀察の警拔なことは驚くほどである。殊に會話の至妙に於いてはことごとく天衣無縫といふも過言ではない。夢聲氏の完璧の話術によつていかにこの神品が生かされるか大いに期待さるべきものである。

浮世床
式亭三馬原作

式亭三馬は安永五年、江戸淺草田原町三丁目に生れた。幼少時代は書肆に奉公し、長じて書肆翫月堂に勤めの傍ら戲作をなし、一方、賣藥並に化粧品を商つて生計に資したどこまでも三馬は市井の一商人として平凡他奇ない生活を營みつゝ民衆生活に鋭い觀察の眼を放つた。草双紙の作品には「天道浮世出星操」「俠太平記向鉢卷」などの優篇があるが、滑稽本の作としては初作「戲場粹言幕之外」を公にしたのを手始めに、「浮世風呂」初篇を出すに於いて、多大の好評を獲得し、やがて不朽の名作「浮世床」によつて一躍大家の列に加はつた。三馬の作風はどこまでも寫實主義をもつて微細に現實を寫し出さうと試み、一層、眞實に近づかしめんがために、會話を多くし、或は獨白をもつて人物の心底を語らせる。同じく町人でありながら、職業、老若、男女をわかち、上方辯、關東辯、江戸辯を書き分け、細い觀察によつて、人物の言葉の外面觀察を行ふと共にその內面の描寫にも成功して、虛榮、欺瞞など人間性の弱點を巧みに衝いてゐるのである

〇

「梗概」大通直うして、髮結床必ず十字街にあるが中にも、浮世風呂に隣れる家は浮世床と名を稱ひて、間口二間朝早々、やつて來たのは紙衣羽織に置頭巾の口やかましやの隱居、口は惡いが人は善く主人の鬢五郎と問答よろしくあつて、いろ／＼とへらず口をきいて湯に行く。素讀指南が先生がやつて來る。下剃の小僧と何かと話をして歸へるそこへ湯から上つた隱居が出て來て、また主人をつかまへて何かと氣焰を上げる。近所の閑人が加はつていよ／＼話の花を咲かすのである。」

一の谷嫩軍記
（二段目流しの枝の段）
淨瑠璃 竹本南部太夫　三味線 野澤勝平
〜後八・一五（東京）〜

あいそと知られたり、風誘ふ道の時雨も戀故に身は濡鷺の菊の前走りついたる一ッ家の門の戸けはしく打たたき、開けて／＼と宣へば林は聞付け誰ぢや／＼、イヤ大事ない者ぢや、大事ない者とは、ハアわしぢや、菊の前ぢやわいのヤヤお姬樣と心得ぬと、庭にかけおり戸を開けてほんにそうぢやまあ／＼お入り遊ばせといふ中もどうやら氣づかひ見れば付添ふ人もなし、何として夜に入ッておお一人お出なされたぞ、おさないの忠度樣の遊ばした、お歌の事に兎角と、取る內を待兼て、お立有りしと聞と早ヤ、跡を慕ふて出たれ共心に任せぬ女の足ここ迄來ても追付かれぬ、道は知らず。日は暮る、そなたの所は前かたに、摩耶參りの時よつたを便り漸尋ね當りしが、此樣におくれては忠度樣に逢ふ事は、なる共なる共そりや又どうして、コレ、忠度樣は先程お出なされて奥にござる、ヤアそれはほんか、嬉しや嬉しや、コレ旅くたびれで休んでござる、けたたましう起さすと、そつとお這入なされとすいな詞におもはゆくヲヲ乳母とした事がおぢやらおぢやらと何ぞいの、譯もない事ばかり云つつ、片ほとりに笑の眉ひらくふすまも待兼ていそいそとして入給ふ、折節納戶の暖簾をあけ、あくびまじくら立出る茂次兵衞、婆樣いかひ雜作でござつた、これさてわしとした事か、不作法な亭主ぶり、イヤモ手ぢやくでたけたりや、くついりをしてくつたりとねてのけた、內に大ぶん用がある、いかい馳走其內來ませうと云捨て、とつかは急ぎ立歸る、時しも一間隣がしく何の樣子か菊の前樓をあけの裾緘はらし、かけ出給へば林は驚きコレコレ申と引とどめ、何事か發つたか氣色をかへてとつかはと、お前はどこへござります、樣子おつしやれ、どふぢや、ホホウ其仔細は忠度がとくと中聞せん倦む所、天必ず誅罰すと、人道の不善、一門の積惡に依てかく迄かたむく平家の運、此度の戰ひも十か九ッ味方の敗軍、某も討死と覺悟極めし事なれば、いつを期してか添果ん、思ひ切つて歸られよといへ共中々聞入れず、陣所へ伴ひ行んとある、時には忠度女に迷ひ、陣中迄倶したりと世の人口にかゝるといひ、死後迄縁を切らざれば、俊成卿の御身の上平家にしたしきとがめをうけ、ついには源氏の仇となつて、亡び給はん悲しさに、わざと離面いひはなし暇をやりしは忠度が、師の厚恩を報ぜん爲、恨みと思ひ給ふなよ、とはいへもしも運に叶ひ、軍に勝たばながらへて再び逢んもはかりがたし、それが頼みに行末の、契りを樂しみ待給へと口にはいさめ心には、これ今生の別れぞと思ひ廻せばいぢらしくさしも武勇に張詰めし、弓弦の切れし心にて、居るも居られぬ座を背け、脇目にあまる御淚包み兼させ給ふにぞ、懸と林は瞬にげまし、今の詞ことを分け理解をといていひなさるに、違つてお供とおつしやれば、親御樣へは不孝といひ殿御の爲には猶ならぬ、いかに姬御前なればとても其辨まへがないかいのふ、アアうとましいお子ではあると、詞をつくして倶々にいさめすかせどいやおふのいらへも淚なか／＼に放れがたなき風情なり折節風にさそはれて、間近く鬪ゆるときのこゑ、耳を突拔く鉦太鼓亂調に打立て、どつとかけくる討手の大將、眞先に大音聲、平家の落人薩摩之守忠度此家に忍びおはする由、注進有つてたしかに聞く、召捕ん爲、梶原平次景高が向ふたり

あゝ銷魂通州城
（後二・二〇 東京より）相模太郎さんの浪曲

今度の支那事變中我等の記憶も新たな通州城の有樣を本多氏が浪花節のために新作したものです。

「北支の空にたゞならぬ、險しき雲は漂へど、白河の岸に雲雀が鳴いて、夏の月夜の夕涼み、平和の樂土は此處のみと、昨日今日まで思ひしに、熟寢耳に水をそそぐが如く、熟寢の夢は破られて、忽ち襲ふ朝嵐し……昭和十二年七月二十九日午前三時、東雲の空まだ明けやらぬに南京放送の適宜傳に漏られた支那敗殘兵は皇軍駐屯部隊の留守をつけ込んで、保安隊を唆かしての叛亂、細木中佐は逸早く、冀東政府委員長、殷汝耕邸に驅けつけたが惜しくも敵の重包圍の中、卑怯未練な敵彈の爲に名譽の戰死、斯かる事とは露知らぬ、特務機關の廳舍では不意の夜襲に甲斐少佐以下五名、肉薄する四方八方の敵兵を擊退くるが如く衆寡敵せず次々に斃れ行き、情報部の少年給仕まで雄々しくも銃を執つたが同じ運命、惡鬼羅刹の魔手は勝鬨擧げて守備隊へ警察分署へと機關銃迫擊砲の釣瓶打ち、さては城內の日本旅館の近水樓を襲つて來たので、邦人十九名のうち十一名は屋根裏に逃れたが、遂に發見されて珠數つなぎにされ、北門內の銃殺場に連れられて行つた。死に行く途の先頭に立たされたのは誰あらうこれぞ同盟通信社北支特派の記者として筆を劍に活躍するその名は安藤利男君、日本新聞記者の使命としてこの實情を誰にも知らさず犬死はしたくないと、機を見るに敏なる彼は、今や銃殺一寸手前、身を城壁よりサット翻し、追ひ來る銃聲を背に浴びながら北京さしてまつしぐら。

學藝

熱河追放序章 (二)

(その車中記)　島田 清

すぐ隣りの坐席では、眼鏡をかけた近眼らしい女學生が岩波文庫に讀入つてゐる。何の本かしら?

本を伏せて、厠へ立つた隙にそつと覗いたら樗牛の「瀧口入道」だ。

ああ、この女學生も、たくさんの女學生と同樣「瀧口入道」がもつ厭世思想に囚はれて自殺でもしなければよいが

(いかに時頼、人若き間は皆あやまちはあるものぞ、萌え出づる時のうら若さに霜枯れの哀れは見えねども、いかでか秋に逢はで果つべき。あでやかなるをなごの色もよも十年とは續かぬものぞ。老いての後に顧みれば色めづる時の若きわれの心われながらわからぬほどたわけたるものなるぞ、誤ちは改むるに憚りなかれとは古哲の金言、父が言葉腑に落ちたるか横笛がこと思ひ切りたるか、時頼返事のなきは不承知か)

とさとす父に向つて、戀人への燃える切々の情を吐露し人の情けのうすさに世をはかなみ出家を希ふ六波羅一の若武者の熱烈な戀情に深いため息を吐いてゐることであらう

それにしても「瀧口入道」は、讀書人の誰もが一度は通らねばならぬ關門のやうなものかも知れない。かつて、この本を全卷暗誦して、一ぱし厭世家をもつて自任してゐた十七、八の頃のことが想ひ返されてたらない。

戀人をこしらへる器量もなかつたくせに、戀人に叛かれたつもりで「憂鬱な厭世家」であつた十七、八の頃が痛々しく思ひ返される。

列車がぐーッとカーヴしはじめた。昌圖あたりを走つてゐるであらう。

開原から一人の滿人の老婆が乘込んで私の橫へ坐つた。同席の、奉天市公署に勤めてゐるといふ氣の輕い男が年を訊くと、七十二だと答へた。百波寄する皺顏は人生の慘苦を刻んで、頭髮もうすく地肌があらはに透けて見える。もの云へば頻りに耳を話し手の方へもつてくるのは耳が遠いのであらうが、氣力なく垂れさがつた瞼の下のどんより曇つた眼は、すでに片方視力を失つてゐるのだといふ。老眼鏡をかけたらよいではないかといふと、一圓の金もないといふ返答である。黑山縣にゐる伜から旅費だけ送つて來たので、伜のもとへ歸るのだが、奉天についたら乘替へを敎へて下さいといふ。

私はもうこれ以上、この老婆から悲慘な身の上話など聞き出す氣力がなかつた。

私は私自分の問題を背負ひきれないほどたくさんもつてゐるではないか。私といふ人間が世の中からすこしばかりハミ出した人間であるかも知れぬやうに、私の問題は私の双肩からハミ出してゐるではないか。

全く私は鉛でも嚥みこんだやうな氣持で熱河の旅をしようとは計り知らなかつた。すべてが思ひ通り、うまくゆくものだとばかり思つてゐた。世の中を見る目があまいためか、世の中を知つたつもりでゐたのが何も知らなかつたための失敗か、それとも豫め私が用意してゐる以上に苛酷に世の中が私を虐げるのか、いづれにせよ、今私は決して見おくりの友人たちが考へてゐるかも知れぬやうな熱河の空へ新たな希望をもつことなく、ただ受動的に汽車に搖られてゐるだけではないか

ただなるがまゝに——。

今は遠い昔のやうな氣がするけれど、かつて大望を抱いてはるばる東京へ上る時も、そして離れがたい東京を捨てて滿洲へ渡る時も、つねに私は一人で而かも意氣揚々としてゐたが、最初はそれほど馴染む氣でもなかつた新京への別離が、かほどに私を名狀しがたい孤獨感へ追ひやるとは不思議である。ひと驛ひと驛と奉天へ近づいてゆくに從つて、新京との緣がうすまり、熱河の住人となると同時に新京との緣が「ことぎれ」になりさうな氣がするのだ。

去る者は日々に疎しといふ言葉をそのまま受取らねばならぬとすれば、新京に殘した未解決の問題は「去る」ことによつて私にとつて不幸な解決濟みとなるかも知れない。

しかし、私はまだ絕望することだけは早いであらう。絕望して了ふことだけは——(未完)

新京のあれやこれや (上)

山谷三郎

大同大街の片側だけ[illegible]るで歐洲の大都會でも見る樣な氣がする程大廈高樓が並んで建つた。大德ビル、大使館、大同自治會館、鑛業開發會社、日毛ビル、康德會館、三中井それに中央銀行等々近代的感覺が充滿して居る。それでもう一つの側が建ち並びさへすれば隨分立派な街に見える事だらう。

康德會館の附近には昔大同大街の未だ工事中の時分長春寺があの姿のまゝ建つて居て建設局の移轉交渉も中々まとまらなくて何時迄も工事の邪魔をして居たのはつい昨日の様な氣がする

大同廣場の附近は城後堡と云つた部落があつて今の中銀の建物の邊りから廣場の中心に[illegible]があつて埋めたてに成り一間どつたものだつた。城後堡の畑の眞中に國都建設局の白堊の建物と、内容は殆んど同じだが外觀に滿洲色を加へた今の首都警察廳がぽつんと並んで建つた。當時の國都の宣傳寫眞は殆んどこの二つの建物の姿が利用されて居た。

大同自治會館に下宿して居て滿洲國政府の若手官吏の連中がよく附屬地まで遠征して行つて足元がしどろもどろになつて歸へつて來ると、當時大同大街に敷設して居た水道下水の設備が工事中で、掘割び道の兩側致る處に在り、それに赤い注意燈が無かつたからよく足を踏々はずして落ち込み、朝迄その中で仕方無く寢て居た。なんて珍談が時々聞かされたものだつた。

勿論張り切つて居た若手官吏ばかりではなく大連や内地に愛妻を殘して建國日淺い滿洲國の爲めに老後の思出とばかりに働きに來て居る老頭兒組の連中も二、三は此の塹壕の中に落ち込んだ筈。又或る時は馬まで落ち上げるのに大騷ぎをして居るのを見た事がある。

こんな調子だから雨が降れば全く泥田だつた。今の經濟部の建物の附近は大佛寺屯と云ふ部落があつた。今でも大同大街の眞中に殘つて居る怪談で有名な孝子廟は此の大佛寺屯の東西に走つて居た道路の東に向つて左側に在つた。

私は此の附近を土地測量した事があつたが、或る日の晝飯時に私の使つて居た滿人人夫が一毛錢前借させて吳れと云ふので貸すとそれを持つてすぐ様何處かに消へてしまひやがて二三十分してから赤い顏をしながら頭を搔きかき歸つて來た。何處に行つたのかと不思議に思つて尋ねて見ると迚も好い處があつて萬事一毛錢で解決したんだと、照れて答へた。その上貴君も行つて見たらどうかとまで云つた。其處は村の居酒屋の様な處へ白酒を一錢二錢と飮ませ、其の上白粉を厚く塗つた女が一人居て、萬事サービスする樣になつて居たのだ。當時私が人夫達に拂つて居た賃金は一日三十錢位だつたから、あれをこんな安く解決するが處有るからには彼等にはきつとよい賃金を拂ひ過ぎて居るんだと考へもう少し下げてやらうかとさへ思つた事があつた。

此の大佛寺屯の中には大佛寺と云ふ大きな寺があり其の前はとても廣大な墓地になつて居た。此れは回教徒の墓地で此の移轉に就いても相當ごたごたが有つた樣に記憶し居る。

大同自治會館と大使館附近は新發屯と云つた。此の新發屯と云ふ處は極く狹い村であつたが附屬地に近い關係から一番に都市建設が始められた。その爲め新發屯の名前がよく知れ渡り何でも新市街の方を云ふ時には新發屯と云ふ様になつた。自治會館の前、今の新發路にも墓地があつた。あまり大きな墓地では無かつたがそれでも百位は大饅頭があつただらう。其の墓地と西公園の間はゴルフリンクになつて居た。綠の芝生が美しい丘陵に生えて居て新綠の萌えて居る時などは仲々好い處だつた。

白菊町から興安橋の附近までは頭道溝と云つた。附屬地の別名を頭道溝と云ふが其の頭道溝の上流で附屬地を除いた殘りの部分を云つたのだ。此處にはダイヤ街の處にあつた競馬場が一時移轉して來た事があり、又此の競馬場の傍の原つぱの眞中に煉瓦工場があつた。

こうして昔の事を、(昔と云つても滿洲國が建國されて國都になつてからだが)回想して見ると變つたものだと驚く程だ。自分が其の中に住んで居るゝ漸々的に變るので氣がつかないが、時々、一年二年と間を置いて來る連中には全く驚異を感ずるさうだ。

私がたまに大連へ行くと大連の發展振りに相當面喰ひ其の度に戶まどひするのだが、大連から此方に來ると尙一層其の感じが甚しいと思ふ。

汽車の中で新京ぐらい大きな建物が無雜作に建つ處は無いと云つて居るのを聞いだことがある。先づ大きな建物が野原の中にどしどし建てられる、住宅街がその近所に密集する、公園が型態を完備する、そして街が出來上る。アスファルト、タールマカダムで舖裝された立派な道路が放射狀や直角狀に築造され、その上を最新型の自動車が馳ける。

建設當時大同大街の五十四米道路が廣過ぎると云つて笑つて居た人達は、今自動車が幾台も續いて相當高速度で走つゝ居る大同大街を橫切るのに苦勞して居る事だらう、都市建設も新京位のスピードでやれれば當事者も愉快な事だらうとうらやましくなる程だ

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△奉天商工月報(十一月號)「奉天に於ける外國人の經濟勢力」「奉天に於ける保險業」その他經濟市況、經濟時報、各種記錄等を收錄してゐる(奉天加茂町三、奉天商工會議所、五十錢)

△實業之世界(十二月號)三島謙吉「日滿の滿洲進出と今後」宮田光雄「支那分立と武裝解除の提唱」高木陸郎「支那に日本は何を與へたか」井上謙吉「北支經濟開發の着眼點」坂本德松「北支開發と農業問題」その他、北支を如何にすべきかに答へた諸家回答、躍る人動く團體等の記事を盛る(東京市芝區芝公園五號地實業之世界社、三十錢)

△萬博(十一月號)「非常時局と博覽會」「かくて準備は進む」佐々木綱雄「巴里萬博より歸りて」等(東京市麴町區有樂町一ノ二、日本萬國博覽會事務局、十錢)

滿洲映畫 女優讀本 (七)

滿洲映畫協會　近藤伊與吉

言葉　發明といふものは人類生活を幸福にしてくれる反面簡單なものをわざわざ複雜化してもくれるものである トーキーが既に然り、無聲であつた時代にはなんでもなかつた映畫がデ・フオレスト博士のトーキー發明と同時に簡單であつた映畫が非常に複雜なものとなつてしまつた、そのうちでも最も複雜化してしまつたものは俳優演技術中の台詞術である

……と斯ふ言ふと、諸君は無聲映畫に台詞術があるものかと思はれるであらう、物言はぬ映畫に台詞があるものか!……それは一應は尤もな言葉に聽えるが、餘りにもその言葉は常識的な獨斷であると私は言ひたい

數日前私は單獨で頂點にある表情は何等意味あるものではないと言つた、それと同一な論法で、表情は台詞を伴はずには正確に表現出來ないものであると言ふことが言へるのである、かりに朝、人に會つて

「お早やう!」

と挨拶すると同じ場合が目上の人に會つて

「お早やう御座います!」

と挨拶するのとでは同一な表情でありながら後者の鄭重さは台詞を伴はずには仲々表現が難しいと言ふことが判るであらう

無聲映畫華かなりし時代には、嚴格にして神經質な撮影監督と眞面目にして藝熟心な俳優との間では、必ず台本に書いてある通りの台詞を正確に暗誦し、正確に發聲したものであつた、是はその微妙な表情の表現效果を正確ならしめんが爲に敢て行つたものである、それがたとへ、口を開いた瞬間、字幕と早變りするのであつてもよき監督、よき俳優の間では、必ず多少の練習まで重ねて實行したものであつたが、どう間違へてか世間には、映畫の撮影といふものはまるで出鱈目なことばかり言つて撮影してゐるものだと傳はつたのであつた

それ故、世間ではトーキーの出現に依つて無聲映畫時代の名優は悉く滅びるであらうと期待してゐたに拘らず、未だに彼等が矍鑠として活躍し寧ろ再檢討のどさくさ紛れに舞臺から割込んで來た脚光の名優どもが、一、二年の試練のあひだに、片端から淸算された事實はこの間の消息を明瞭に物語つてゐるのである

無聲映畫時代に、私は日本映畫俳優諸君に向つて

「音はしなくても、台詞は撮る」と云ふ言葉を絕えず言つてゐたのはこの意味であつたのだが、それよりももつと奇異に私が感じたことは、東北地方から出て來た俳優は、彼が如何にスマートな服裝なしモダーンな銀座紳士に扮してゐても、彼が東北獨特のズウズウ辯を正さない限り、矢張り彼は東北紳士に映ると云ふ事實であつた

トーキーにはトーキー獨特の性格がある、その上、各々のシステムに從つて、各々の小さな性格があるので、舞臺の上の名台詞俳優は必ずしもトーキーの名優とは言へないのである、一例を擧げるとトーキーはラヂオと同様、吐く呼吸に就ては無關心であるが、吸ふ呼吸に就ては、極めて神經質的で、極端に是から生ずる音聲を嫌ふのである、だから聲を高めて呵々大笑するにしても、字に書いた感の

「あハ、ハ、ハ、ハア!」

は、その通りに記錄されるが若し俳優が、肉體的條件に依つて

「あッはッ、はッ、はッ、はッ」

と笑ひ

「あハ、ハ、ハ、ハッ!」

と笑つたならば、是は決して呵々大笑として再生されず

「アフハフ、ハフ、ハフ、ハフ」

「アは、は、は、ハフ!」

と云ふやうな、笑ひとは判斷し兼ねる音聲になるのである

斯うしたトーキーそれ自體の性格は、數へ切れぬほど澤山あるのである

その上、トーキーは方言に對して驚く可きほど敏感である、日本の場合で例を擧げるならば、東北辯と九州辯、山陰訛と山陽訛などは、明瞭に區分するし、同じ東北方言でも、日本海に面した雪深い秋田辯と、太平洋岸の岩手辯とは正確に區別して再現するのである、故に諸君の發音は、新京言葉とハルピン方言とは明瞭に區別されるであらうし同じ新京でも、城內と寬城子とでは、相當明確な分類をされるのであらうと思へる

そこで諸君は、何處の言葉を標準にして、台詞術を研究しなければならないかと云ふ問題が早速に生じて來る、新しく勃興した首都新京か、古く上品な都の吉林か、國際都市である哈爾濱か、日本文化の飽和點に達してゐる都市大連か、或は遠く離れて、現在滿洲國で使用されてゐる言語の母體語である北京官話か!

是に就ては、いづれ滿洲文化親話會などが研究してくれることであらうし、私の方の鎗谷製作課長は在支滿三十年このことに就ては充分な卓見を持つてゐられるらしいので早晚一定の方針が建てられるであらうと思つてゐたけれど現在のところ諸君は、是等の方言の特性を早急に把握して脚本に依つて如何なる土地出身の役を振られても、それを演りこなせる準備をして置く必要があらう

殊に北京官話は、世界に於て最も美的な言語であるとされてゐるだけに、美の表現に從事する諸君は、斷じてこの言葉を鑑賞し得る耳と、使用し得る舌とを持つてゐる可き義務がある、現在のところはそれ以上には、私には言へない(未完)

日常生活合理化へ よき準備相談會
非常時克服の家庭報國運動
友の會主催十日開催

新京友の會では現下非常時に鑑みて銃後にある者の盡忠報國は出征または凱旋に際しての送迎、出征家族或は傷病兵の慰問等當然なすべき務め以外さらに一歩を進めて國難を克服するため我々の日常生活を合理化し時・金・物資等すべての無駄を省くと共に健康を増進することこそ銃後國民の向ふ道であるとの見地に立つて同會主催のもとに來る十日午後一時より協和會々議室に於て〃よき生活準備相談會〃を開催左記の諸問題につきそれ〴〵權威者の講演及實踐方法等相互懇談の上緊急時局下の生活報國運動を積極的に働きかけることゝなつた、當日の講演及懇談の題目は

一、友の會の家事家計の目標
一、非常時と銃後の守り
一、豫算生活、豫定生活の必要
一、豫定の立て方及豫算の立て方
一、保健を經濟から見た榮養の話
一、其の他

尚右相談會は入場無料一般の來聽を歡迎されてゐると共に子供連れ婦人參會者のために臨時託兒所を設けて子供を預ることゝなつてゐる

市新諮議會員 八日初會議開催
議長指名、豫算課税問題審議

新京特別市新諮議會員の顏觸れも決定したので來る八日（水曜日）午前十時より協和會第一會議室に於て四十萬市民注視のもとに新人容に依る第一回の諮議會を開催することとなつた、會議順序並びに議事は左の如くである

一、選任式
二、議長指命（議長、副議長を選擧の筈のところ、副議長は置かず議長だけとし市長がこれを指名することとなつた）
三、議事
（イ）康德五年度豫算に關する件
（ロ）康德五年度諸税に關する件
（ハ）特別市區條令に關する件
（ニ）公告式條令に關する件

尙は諮議會終了後豫算、諸税新區制、名稱等を發表する段取りとなる模樣である

故東宮中佐の慰靈祭執行

去る十四日上海戰線において壯烈な戰死を遂げた故東宮鐵男中佐は生前滿洲農業移民の慈父と慕はれた人なので、かねて移民關係者の間でその弔慰方法を協議中であつたが滿洲拓植委員會、滿拓公社、協和會が主催となり來る九日新京記念公會堂において佛式により簡素嚴肅な慰靈祭を執行することゝなつた

「承認」祝電殺到
張總理ら大喜び

滿洲國が建國僅かに五年にして早くも完全なる獨立國としての威容を整へ今次前後してイタリー、スペイン兩國より正式に承認され、新興國の意氣溌剌と世界の檜舞臺に登場、防共陣に磐石の重きを加へたことは日滿各方面に大きな歡喜と感激の渦を捲起してゐるが、「承認」の快報一度傳はるや忽ち左の要人達はじめ各方面より洪水のやうに祝電が寄せられ、受取つた張總理、大橋外務局長官等の喜びを二重にしてゐる

前司法部大臣馮涵淸、元參議筑紫熊七、大阪滿洲國名譽領事江崎利一、門司名譽領事出光佐三、對滿事務局次長原邦道、京城名譽領事朴榮喆、元國務院總務廳長駒井德三、嵯峨實勝、元法制局長三宅福馬、大阪朝日新聞社長上野精一、旅順市長高山勝司、東亞煙草社長金光庸夫、ジュネーヴ日本名譽領事キャナル氏外十數氏

畏し、將兵遺家族に
祭粢料御下賜

【東京國通】洩れ承るところによれば、畏き邊りにおかせられては東洋平和の尊き礎石となつて散つた皇軍勇士達を痛ませ給ふこと一方ならずその犧牲については屢々側近に御下問あらせられ、將校に敍位の御沙汰あらせ給ひ、また皇后陛下には將兵遺家族に御歌、御紋菓を下し賜はるなど畏き御仁慈を垂れさせられ給ふたが、兩陛下には將兵の葬儀にまで御心を用ひさせられ、陸海軍から戰死、戰病死の確報があり次第直ちに遺家族に對し祭粢料として御內帑金一封を下賜あらせられてゐる、戰爭、事變每に敍位、敍勳、行賞の御沙汰のほか英靈を靖國神社ならびに宮中に祀らしめられるわが皇室が祭粢料まで下賜あらせられて殉國の赤子を慰めさせ給ふ御事は洵に畏き極みで勇士の遺家族は鴻恩の無邊に感泣してゐる

今後の水道料金は持參納入のこと
市民へ、水道科からの注意

十二月一日治慶並に滿鐵行政權移讓に依つて從來滿鐵に於て取扱はれてゐた水道に關する一切の事務並に工事は今後新京特別市公署水道科に於て引繼がれたので一般市民利用者に對し同水道科では左の如き注意を促すところあつた

一、水道料金並びに工費及び其の納入方法に就て

イ、取扱規定及び料率は當分の間從來と變りは御座いません

ロ、從來滿鐵では納入及び一部集金制を實施して居りましたが諸種の事情から今後は右制度を廢し料金は總て指定期日迄に特別市の會計科又は興業銀行南廣場支店に御持參納入願ます、若し遲滯の時は停水又は其他の處分をなす事がありますから豫め御了承下さい

ハ、從來滿鐵では自十月二十六日至十一月二十五日間の使用水量を自十一月二十六日至十二月十日約十五日間に點檢を終了したものを十二月分として請求致しましたが引繼の都合上例月の點檢開始日を本月に限り十二月十日に延期しました、從て使用料に多少增額がありますが之は誤算では有りませんから豫め御了承願ひます

ニ、今後の點檢開始日は特別の事由あるものの外例月二十一日より開始し月末に終了翌月八日迄には其の告知書を御手許に御屆け致しますから指定期間内に必ず納入願ひます

三、其の他水道事務及び工事に就て

ホ、水道の使用、中止、開始給水裝置小修繕の受付其の他告知書の再發等一般業務は祝町元滿鐵保健所跡特別市綜合派出所へ電話（三）五二二一番）に於て臨時取扱ひますから御利用願ます

ヘ、從來給水裝置小修繕工事の申込は直接千々岩工務所で受付ましたが今後上記綜合派出所に御申込願ます、派出所では御申込順により施工命令を發し迅速に施工致します

ト、特別市水道科に事故係（電話（二）八五〇（二）一一一一七六、七五）を設けました使用水量に對する御不審の點小修繕工事其他に就て御不滿の點が御座いましたら遠慮なく右係を御利用願ひます、尙引繼早々御不便の點が御座いませうが當分御協力御幸抱願ひます

新年は書店から
早くも積まれた新年號の山
トップは雜誌キング

十二月の聲を聞いて旣に五日歲末聯合大賣出しの開始と共に早くも餅菓子屋の店頭には吉例祝餅調製の廣告が內地米一升七十錢台、地米一升六十錢台の價格でしかもこれにも祝皇軍戰捷の文字が加へられて見られる樣になつた、かくて中旬ボーナスの氾濫と共に歲末狂燥曲は深刻化してくるであらう、でもさうした人々の歩みには無關係に無心な幼兒達は指折り數へて正月の來るのを待つてゐる、こんなに待ちこがれてゐる新年は何處から來るかすぐ眼の前だ、書店の店頭には四日早くも「キング」が新年號のトップを切つて先づ並べられた、色彩華々しい盛澤山の附錄付きの娛樂雜誌がこゝ數日中に揃ふと續いて幼年少年婦人綜合雜誌の順に我々の前に「新年」の二字をクローズアップさせるのだ、各種年鑑、日記類もうづ高く積まれて早く買つてくれと言はんばかりだ、手に取つてみるとかうした物もやはり軍國調が滲み出し時代相を現出してゐる、大阪屋號書店にどうですと御伺ひをたてると

來ました、來ました、五日には娛樂雜誌が全部出揃ふでせう賣上は例年と大して變化も無いでせうが年鑑日記類も大分前から積んでありますけれどもまだ僅かしか賣つてゐない狀態でこれからですよ、うんと張切つて賣上を增進させます、世間は歲末でも私の店はもう新年氣分でまあ一月早く年を迎へた譯ですね

と忙しさうに店內を廻りながらの御返事だ

南京陷落目睫に
鄉軍、祝捷會準備
近く具体案打合せ

暴戾支那軍膺懲の火蓋を切つてより百五十日其の間勇猛果敢の皇軍は北は察哈爾、綏遠河北、山西各省の堅城を悉く陷れ南は上海の頑敵を掃蕩し南北相呼應して目指す南京へと破竹の猛攻を敢行しつゝあり南軍は旣に南京の最後の防禦線たる鎭江、句容、溧水の線に肉薄一擧に南京を衝かんとするもの如く刻々に進展する戰況に銃後國民の血はいよ〳〵躍る、國都新京では南京陷落の話で持ち切つてゐる、就中在鄉軍人會では捷報の到るは二十二、三日頃との見込のもとに早くも一大祝捷會の準備を進めておりいづれ近日協和會あたりが主體となり具體的打合せ會が開かれるものと見られてゐる

竊盜犯捕はる

旣報治慶後最初の盜難屆出であつた入舟町三丁目十一番地高田正夫氏方に侵入衣類十數點時價五百圓餘を竊取した犯人については極力捜査中であつたが、三日午後二時頃東三馬路某滿人質屋に入質せんとする擧動不審の男あるとの聞き込みに四道街署司法係川崎警尉外刑事二名急行同署に連行嚴重追窮の結果、右は朝鮮京城生れ住所不定李鐘淳（三二）で前記犯行の外同一手口で市内各所を荒し廻り入質遊興に費消した旨自白、その被害千餘圓に及んでゐるが、治慶後初の捕物として同署では幸先を祝つてゐた、尚餘罪取調べ中である

各省社會教育主任會議二日目

全滿各省社會教育主任會議第二日目は四日午前十時より協和會首都本部會議室に於て開催され馮社會司長、宮澤民生部次長列席、成人教育に關する件、民衆教育館及び民衆學校に關する件、敎化及び修養團に關する件、時局に際し社會教育實施對策に關する件、放送教育に關する件等を懇談の後午後四時終了した

全滿輸入組合聯合會
關東軍へ獻金
二千六百圓を醵出

滿洲輸入組合聯合會では先般より國防獻金を全滿輸入組合間に募集してゐたが、同聯合會と大連、旅順、大石橋、營口、鞍山、遼陽、奉天、撫順本溪湖、安東、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、新京、吉林及び錦州、齊々哈爾の二商業組合合せて千六百圓と從業員千圓合計二千六百圓の醵金をみて近く新京輸入組合理事石非保吉氏が代表してこれを關東軍に獻納することゝなつた

切々ソ聯の暴狀を語る
杉下總領事歸京

【東京國通】ウラヂオ總領事からフインランド公使に榮轉した杉下裕次郎氏は三日夜歯槽膿漏で憔悴した體を附添ひ二人に護られながら歸京した、公使はこの際私事的話は行はないと前提し乍ら次の如く語つた

內地の新聞には餘り出ない樣でしたが、先頃ソ聯では極東の農業や漁業に從事してゐた約二十萬の朝鮮人を强制的に中央アジアに然もほんの一月足らずの間に移してしまつたのですからソ聯がどんな國であるかこの一事でもおわかりでせう、ウラヂオではドイツの領事館は近く閉鎖されることになつてゐるし、今あるのは日本と支那だけで日本人は領事館關係外は日ソ漁業の事務所に三人、北日本汽船代表が一人居るだけです、ウラヂオにおける日常生活は極めて不便で例へばこの寒さに向つて領事館では石炭を買ふにもいち〳〵外交代表を通じて公文書を書かねばならぬ、私が發つ去る十一月卅日までは未だなんだかんだと手に入れることが出來ず領事館でもこの寒空に困つてゐました、また野菜等にしても冬は絶對に手に入らず皆日本から罐詰で取寄せてゐます、その他靴、衣服等にしてもあるときにはありますが、無いとなれば數ヶ月の間一足の靴すら無いのですから困つたものです、又一々外交代表を通す制度は今度のわたしの樣に病氣でもすれば尙更困る譯で、急に夜中に病人でも出來樣ものならそれがどんな大病でも夜中に外交代表は居ません、夜が明ける迄待たねばならぬといふ狀態です、一般市民の吾々に對する態度も頗る冷淡で一人も近づく者はゐません

勤勞所得税法外四件六日公布

三日の參議府會議の諮詢を經た勤勞所得税法、自由職業税法、家屋税法、瓦斯事業法、獸醫師法は六日公布と共に政府公報をもつて發表される

新京聖公會

十二月五日（降臨節第二主日）
日曜學校　午前九時半　同
早禱禮拜　午前十時半　聖堂
晚禱禮拜　午後七時半　同、
司式說教　久泉牧師

高野範士來京

高野劍道範士は四日午後三時二十分大連より着京同午後四時より新京商業學校道場に於ける劍道講習會に臨み在京精練證並に選手七十餘名を指導教授した同士は新京に一泊五日奉天に向ふ豫定

右と左が全然逆
珍しい異狀內臟の持主現る

普通人とは左右反對に內臟機關を持つてゐる日本人靑年が新京で發見された、十一月廿日から一週間健康周間が實施された時、最終日の廿六日に新京祝町保健所を訪れて來た靑年が胸部の壓迫感を訴べるので白石醫師が診察すると、何とこの靑年の鼓動は右の方で打つてゐる、稀にみる異狀內臟の持主なのである、念のためレントゲン寫眞に撮つてみると案の條心臟は右にあるし、肝臟も普通人なら右の方から左へかけてあるのが逆になつて居り、胃も左方へ傾く管のが右へ傾き、大腸、小腸も左廻りで盲腸が左について居るといつた始末、總てが逆になつてゐる、この靑年は富山縣生れで現在入船町二丁目七番地に文房具店を營んでゐる山崎弘君（二四）といふが後でレントゲン寫眞を見せられて一時蒼くなつたが

異狀內臟の持主でも不具者ぢやありません只あなたは珍しい醫學上の一例に過ぎないんです

と言はれ安心して歸つて行つた【寫眞は山崎弘君】

張總理招待宴

張國務總理は建國大學總長として四日午後六時各方面を軍人會館に招待設宴した

帝人事件判決

【東京國通】三土忠造、中島久萬吉氏等十六名に係る問題の帝人事件は愈々三年八ヶ月振りに來る十六日午前九時東京刑事地方裁判所大法廷で判決言渡しを行ふ事に決定した

煤煙防止、燃料經濟展
あすまで開催
けふは火夫實地指導

〃國都の空から煙害を驅逐せよ〃のスローガンを掲げ活動を開始した新京煤煙防止委員會主催の『煤煙防止と燃料經濟週間』の第三日目のプログラム煤煙防止と燃料經濟展は四日午前九時から大同大街三中井百貨店五階に於て開催された、會場には煤煙防止の各種ポスター・各種煖房器具を陳列し正午から四時までは專門の人々が實物について一々懇切叮嚀に說明をなし入場者には洩れなく石炭の焚方を詳細に說明したパンフレット、煤煙濃度の測り方等の資料を無代で進呈した、同展覽會は六日迄開催するが五日は午後一時半から二時間常盤町滿鐵集合社宅煖房室で主として火夫に對し手焚きに就き山崎、森非兩講師が實地指導をなす筈である

長距離機再擧

【東京國通】長距離飛行の世界レコードを目指すわが航研長距離機は去月十三日木更津離陸後エンジンと天候の好調に惠まれながら脚輪引込裝置の故障から惜しくも前途を阻まれたが、その修理も愈々成つたので來る十八日の滿月冴える前後を期して再擧することになつた

首都警察廳司法科は機構一元化と共に搜查股治安股改め防犯股を新設兩陣を以て首都に於ける犯罪の掃滅を期し科員のハリキリも凄いものがある▼新設の防犯股初代股長の重責に就いたおなじみの村上警佐或る日の午後冬日をのんびりと背に受け股長の椅子にあつて『困つたものだ』とつぶやいてゐる▼何が困つたかといふとニヤリと笑つて曰く『防犯股が活動を開始すると國都に犯罪はなくなつてしまふ―必然搜査股の連中はアクビの連續となつて給料をもらふのに心苦しいだらうと思つて…』▼大きい體格でもない村上さん、言ふこと丈けは滅法大きい

天氣と氣温

けふの天氣　西寄の風晴
日の出　前七時五六分
日の入　後五時二分
月の出　前九時三三分
月の入　後六時五八分
きのふの氣温　最高零下二度一　最低零下一四度五

義人長七郎

（舞臺上演映畫化）　中川雨之助　竹枝二郎畫

（百二十三）

浪人狩り（三）

「今夜、貴公が連立つて來た若い浪人のことだ。知らぬとは言はさぬ。隠し立をしては爲にならぬぞ」

「知らん！」

英之助は、キッパリ遣り返した。浪人とさへみれば、頭から謀叛人あつかひにして騒る役人の跋扈的な態度が、氣に喰はないからです。

「なにッ、知らん……隠すのは怪しい。確かに訴人があつて、取調べに參つたのだ。止むを得ん、踏込んで家捜しするぞ！」

役人の土足が、上り框を蹈まうとした。

「待てッ！」

と、刀を引き寄せた鋭い相手の氣込みに、役人は、チョツと二の足を踏んだ。

「瘦せても枯ても武士の住居だ、みだりに不潔の草鞋で汚してみろ、その分には置かぬぞ」

と、英之助が啖呵つた時、

「面倒だから、出てやるよ、はゝゝはゝゝ」

突然、障子の外に跫あり。長七郎、サツと障子を開いて出て來ました。

役人たちは、一齊に動揺めきました。

一度はギョツとしたが、役人は、やがて元氣を取り直して

「行けー」

と、戸外の方へ、顎をしやくつた。引立てようとするのです。

「何處へ行くのか」

と、長七郎は訊きました。平氣なもので、口もとには微笑をさへ湛へてゐる。それが役人には、愚弄されて居るやうで、腹が立つてたまらない。

「知れたことだ、番所へ引立て吟味するのだ」

駄だといつたら、飛びかゝつて來さうな權幕です。

「なぜ吟味など受けるのか」で

「怪しい奴！」

「なにが怪しい」

と、言はれると、役人はグッと詰つた。

「貴公たちは、浪人とさへ見れば直ぐに謀叛人かなんぞのやうに騒ぎ廻るが、實に笑止千萬。臆病者が、枯尾花を幽靈と間違へて、腰を抜かすのと同じ理窟だ」

「臆病者とは何だ。さういふ其方はどうだ、身に暗い處が無ければなぜ隠れる、また其方も、さうだ」

と、英之助を睨み、

「誰も居らぬ、なぞといつて、なぜ隠し立をした？」

英之助が、なにか言はうとするのを、長七郎は引取つて、

「その責は貴公達にあるのだ。浪人狩々々と血眼になつて騒ぎ廻り、相手の身分も、是非黒白をも見分ようとせず、浪人とさへ見れば、只だ無暗に捕へやうとする」

あまりに人の權威を踏みにじるといふものだ、それが小面倒だで、チョツと隠れたまでさ」

「此奴が、人を馬鹿にしやがつて……なんだ權威を踏みにじる。はツはゝゝゝ、權威だつて……。扶持に離れて裏店住居をするやうな痩浪人に、何の權威がある。ツベコベ屁理窟を並べず同道せい。たつて否むにおいては、已むを得ん。召捕るぞ」

役人も、次第に氣色ばんで來ました。

長七郎は、鼻でチョイと悪戯氣を出して、一泡吹かして遣らうかと思つたのですが、彼らに長屋を騒がして、後で兄妹に迷惑をかけても氣の毒だと思つたので、

「よし、それ程の懇望をことはるも氣の毒だ。では一緒に行つて遣はす。謀叛の張本人でも捕まへた氣で、せいぜい得意になるがよい。もつともその得意は、ぢきに失望と早變りをするのだが……」